

取扱説明書(WEB)

全自動電気洗濯機

型番:ITW-A1053H[室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外となることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P8](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルについて P2](#)」をご確認ください。
- ・ 本書に使用している写真・イラストは説明のためのイメージであり、実物とは多少異なる場合があります。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に..... 8

安全上の注意..... 8

使用上の注意..... 12

各部の名称..... 13

洗濯・脱水槽..... 15

操作パネル..... 16

付属品..... 18

洗濯物について..... 19

取り扱いかた..... 21

洗濯前の準備..... 21

ドアスタンドについて..... 26

液体洗剤・柔軟剤自動投入機能について..... 27

液体洗剤・柔軟剤の入れ方..... 27

基準量を設定する..... 30

液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき..... 31

洗剤・柔軟剤を手動投入する..... 34

漂白剤の入れかた..... 39

洗濯..... 40

「標準」コース..... 41

「おこのみ」コース..... 43

「特急(1kg)」コース..... 46

「手洗い」コース.....	48
「毛布」コース.....	51
「デリケート」コース.....	55
「どろ汚れ」コース.....	58
コースの設定を変更して洗濯する.....	60
タイマー予約設定.....	62
コース一覧.....	65
「時短」機能について.....	68
運転内容の変更.....	69
その他の機能.....	72
チャイルドロック・ふたロック.....	75

お手入れ..... 76

お手入れについて.....	76
糸くずフィルター.....	77
本体外側.....	78
自動投入タンク取り付け部.....	78
洗剤投入ケース.....	79
槽クリーン(槽洗浄).....	80
槽クリーン(槽乾燥).....	81
自動洗剤投入タンク・経路.....	82

こんなときは..... 84

困ったときは.....	84
-------------	----

こんな表示が出たときは.....	92
------------------	----

その他の情報..... 94

仕様.....	94
---------	----

保証とアフターサービス.....	95
------------------	----

保証規定.....	96
-----------	----

長期使用製品について.....	97
-----------------	----

お問い合わせ.....	98
-------------	----

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P8](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 - 電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う 火災の原因になります。
 プラグを抜く	お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・やけど・けがの原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	- 電源コードをたばねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 電源コードを傷付けない - 電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 - 洗濯機を電源プラグに押しつけない 据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。

	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコール P98 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
 分解禁止	分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコール P98(☎ 電話をかける)にご相談 ください。

据え付けについて

	- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない - ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない 火災の原因になります。
 アースを 必ず接続	- アースを必ず取り付ける 感電・やけど・けがの原因になります。 - アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない 爆発・火災の原因になります。
 接触禁止	回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯 物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。
	ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに洗濯・脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を 中止する 事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコール P98(☎ 電話をかける)へ 修理を依頼してください。
 感電注意	雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない 感電のおそれがあります。
	- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない - 近くに子どもが乗りやすい台などを置かない - 子どもや、補助が必要な人に1人で使わせない 洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。

 水ぬれ禁止	・ 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない 漏電やショートを起こし、火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 触れるとビリビリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P98( 電話をかける)へお問い合わせください。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

 プラグを抜く	・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	・ 40℃以上のお湯を使用しない ・ 給湯器につながらない プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。 ・ 上に乗ったり、寄りかかったりしない ・ 重いものを載せない 転倒事故や製品の破損の原因になります。 ・ スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) ・ 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のものを入れない 火災の原因になります。
 火気禁止	・ 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない 火災の原因になります。
	・ 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない 洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。 風乾燥も使用しないでください。

防水性のもの・水を通しにくいもの

レインコート・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シートなど

- ・ **衣類を入れすぎない**

運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。

- ・ **洗濯機の下に手や足などを入れない**

回転部などに触れるとけがの原因になります。防振かさ上げ台などを使用すると、床面とのすき間が大きくなるのでご注意ください。

- ・ **衣類の洗濯以外に使用しない**

- ・ **業務用など家庭用以外に使用しない**

本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、故障の原因になります。

据え付けについて



- ・ **キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない**

- ・ **高いところに据え付けない**

脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- ・ **確実に排水できる場所に据え付ける**

水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

- ・ **給水ホースは確実に接続する**

- ・ **運転前は、水栓を開けて、給水ホースの接続部から水がもれていないことを確認する**

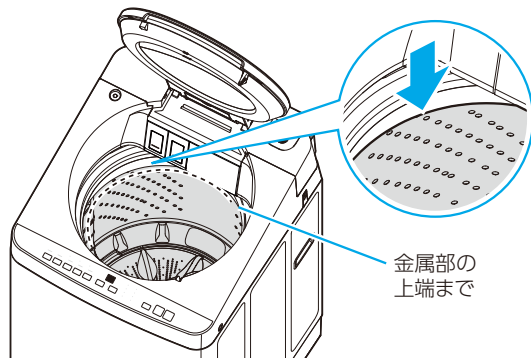
ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。

- ・ **運転後は水栓を閉じる**

水もれの原因になります。

使用上の注意

- ・ 洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- ・ 洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損・故障の原因になります。



- ・ 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。
- ・ ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- ・ スタート
一時停止 を押して運転を開始した後は、洗い・すすぎ・脱水・コースについては変更できません。
水量のみ変更できます。
- ・ スピーカーや IH 調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。
- ・ 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。
- ・ 本体(特にふたや操作パネル)に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。
印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。
特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。
- ・ 砂や小石、草木など大きなものは、あらかじめ衣類から取り除いて洗濯してください。
故障の原因になります。

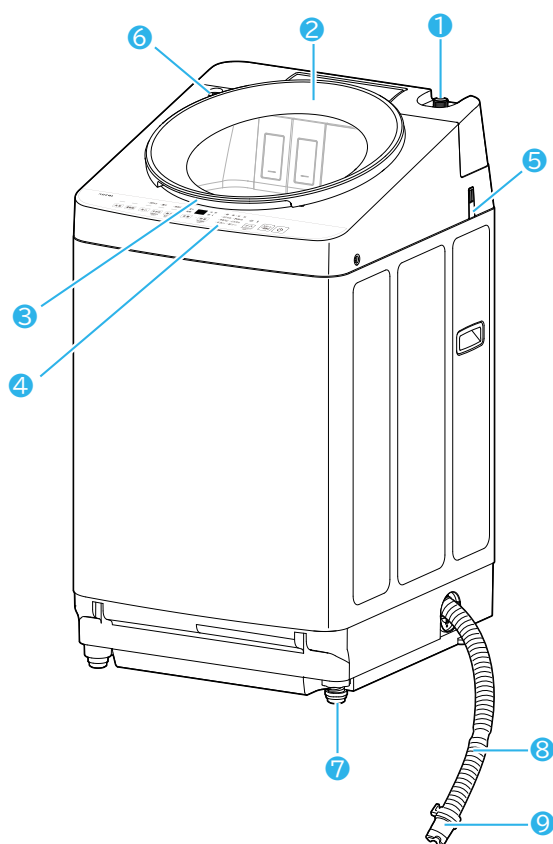
— 廃棄について

- ・ 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

子どもを含む、補助を必要とする方がこの機器を使用する場合は、安全管理を行う方の付き添いおよび指示のもとで行ってください。小さな子どもやペットが誤って洗濯・脱水槽に落下したり、製品を作動したりしないよう注意してください。

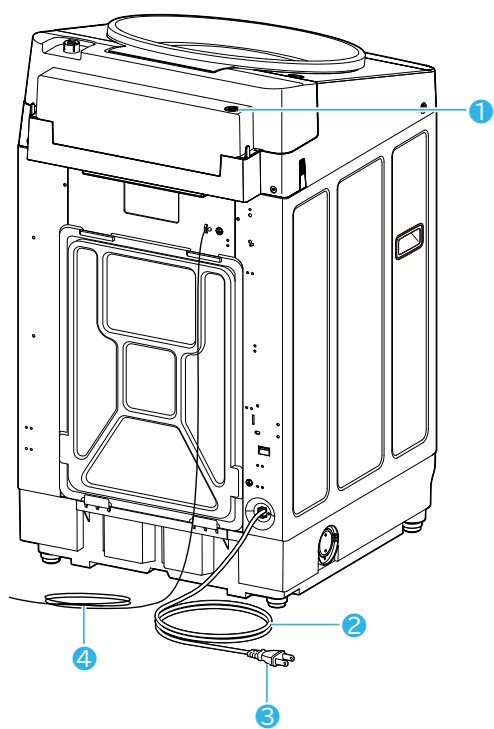
各部の名称

— 前面



- ① 給水口
- ② ふた
- ③ ふた取っ手
- ④ 操作パネル
- ⑤ 排水ホースかけ
- ⑥ 水準器
- ⑦ 調節脚
- ⑧ 排水ホース(付属品)
- ⑨ スリーブ

背面



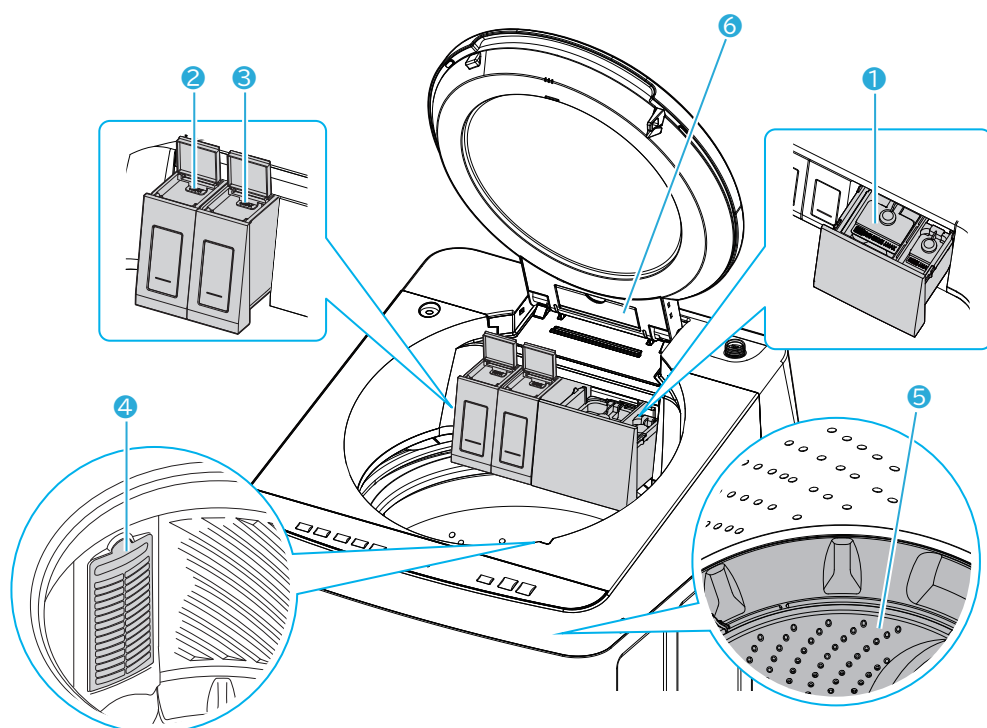
① 乾燥機用排水口

② 電源コード

③ 電源プラグ

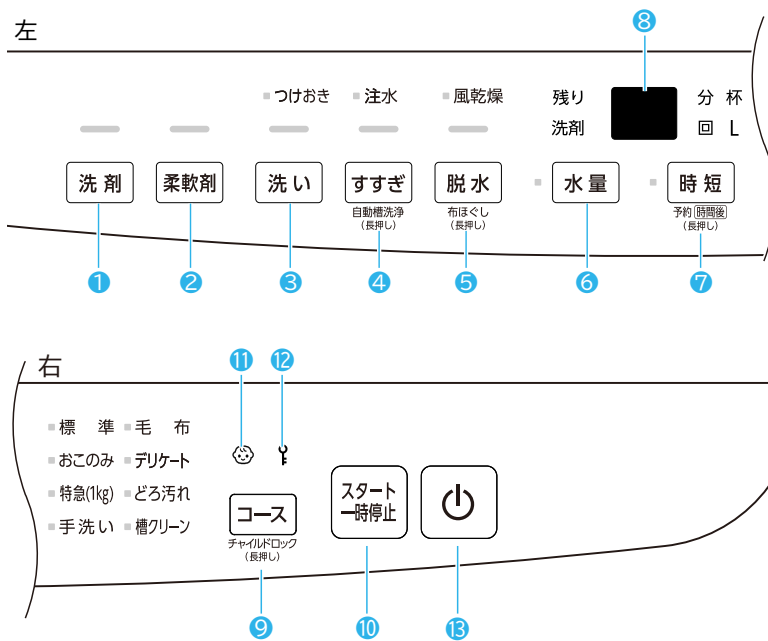
④ アース線

洗濯・脱水槽



- ① 液体洗剤・液体漂白剤投入口
- ② 自動投入用液体洗剤タンク
- ③ 自動投入用柔軟剤タンク
- ④ 糸くずフィルター
- ⑤ パルセーター
- ⑥ ドアスタンド(→[ドアスタンドについて P26](#))

操作パネル



① 洗剤ボタン・ランプ

自動投入時の洗剤投入量を設定することができます。

設定されている場合ランプが点灯します。運転中投入が終了すると消灯します。

② 柔軟剤ボタン・ランプ

自動投入時の柔軟剤投入量を設定することができます。

設定されている場合ランプが点灯します。運転中投入が終了すると消灯します。

③ 洗いボタン・ランプ

コースを選んだ後でボタンを押すと、洗いの時間を変更することができます。

設定されるとランプが点灯し、洗い中はランプが点滅します。終了すると消灯します。

④ すすぎボタン・ランプ

コースを選んだ後でボタンを押すと、すすぎの回数を変更することができます。

設定されるとランプが点灯し、すすぎ中はランプが点滅します。終了すると消灯します。

⑤ 脱水ボタン・ランプ

コースを選んだ後でボタンを押すと、脱水の時間を変更することができます。

設定されるとランプが点灯し、脱水中はランプが点滅します。終了すると消灯します。

⑥ 水量ボタン・ランプ

洗濯物の量やコースに合わせて、自動で水量が設定され、ランプが点灯します。

水量ボタンを押すと、手動で水量を変更することもできます。

⑦ 時短ボタン・ランプ

コースを選んだ後に「時短」ボタンを押すことでランプが点滅から点灯に変わり、

所要時間を短縮することができます。(→「[時短機能について](#) P68)

⑧ 表示部

残り時間(目安)や予約時間、お知らせ表示(→[こんな表示が出たときは P92](#))などを表示します。

⑨ コースボタン・表示

洗濯のコースを選びます。

⑩ スタート／一時停止ボタン

洗濯を開始するとき、一時停止するときに押します。

一時停止すると、ふたロックが解除されます。

⑪ チャイルドロックランプ

チャイルドロックモードを入にすると点灯します。

⑫ ふたロックランプ

ふたがロックされているときに点灯します。

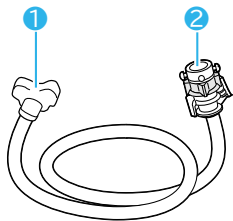
⑬ 電源ボタン

電源を入・切します。

運転終了後は電源が切れます。

付属品

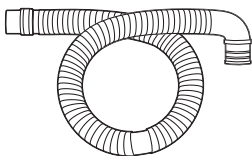
給水ホース(約 0.8 m)



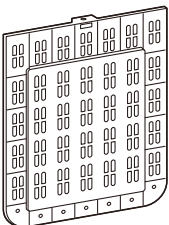
① 給水ナット

② 給水ホース継手

排水ホース(約 0.8 m)



保護カバー



M4 ねじ



排水ホースクリップ

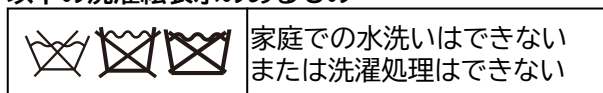


洗濯物について

洗濯できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

- ・ 以下の洗濯絵表示のあるもの



- ・ 取り扱い絵表示や素材表示のないもの
- ・ 皮革・毛皮・羽などが使われている製品
- ・ 和服・和装小物
- ・ ネクタイ・スーツ・コート
- ・ レーヨン・キュプラおよびそれらの混紡が使われている製品
- ・ 絹製品
- ・ ベルベットなどのパイル地製品
- ・ 強燃糸(強くよじった糸)を使用した製品(ウール・ちりめんなど)
- ・ 毛 100%または毛足 10mm 以上の毛布やカーペットカバー
- ・ くつ
- ・ コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

- ・ 防水性製品(洗濯できる表示があっても洗わない)
- ・ 裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの(玄関マット・ラグマット・敷物など)
- ・ カーペット
- ・ 座ぶとん・まくら・クッションなど
- ・ ペットなどの毛が多量に付着したもの
- ・ 市販の洗濯補助具(洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど)

風乾燥ができないもの

洗濯物の縮み・しわ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

・ 以下の取り扱い絵表示のあるもの

	弱くしぼるのがよい
	つり干しがよい
	しぼってはいけない

- ・ ゴムやウレタンなどを使用した製品
- ・ わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど
- ・ ウールおよびウール混紡製品
- ・ 色落ち・色移りしやすいもの
- ・ しわがつきやすい製品

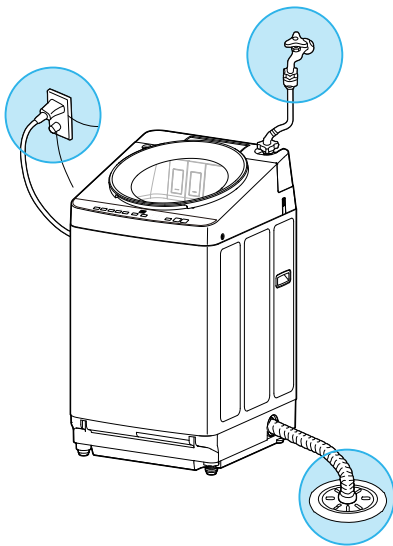
その他、洗濯・脱水できない製品は、風乾燥もできません。

取り扱いかた

洗濯前の準備

据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



1

電源コード

- ・ 電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- ・ アースが接続されているか

排水ホース

- ・ 確実に排水口に取り付けられているか
- ・ 排水が止まらないように高さ 10cm 以内に収まっているか(据付説明書参照)
- ・ 排水ホースが脚などにはさまっていないか

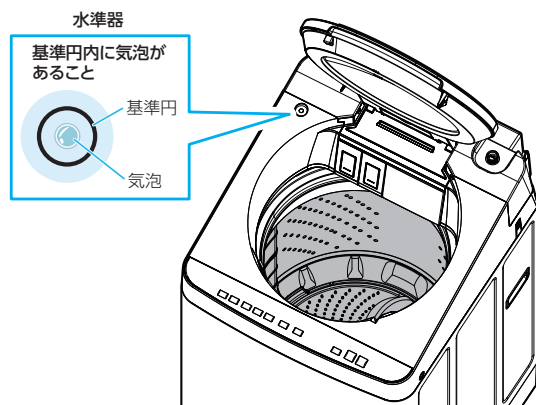
給水ホース

- ・ 水栓(蛇口)の接続は、付属の給水ホースを使用して、給水ホース継手で接続しているか
- ・ 本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めてあるか
- ・ 接続部分にゆるみやがたつきがないか
- ・ 水栓(蛇口)にさびは発生していないか

※給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。(据付説明書参照)

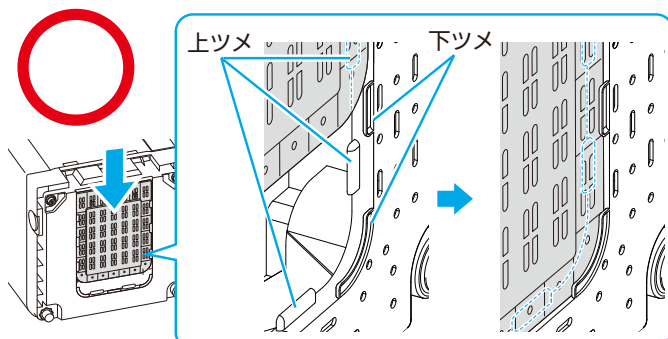
本体

- 水平に設置されているか

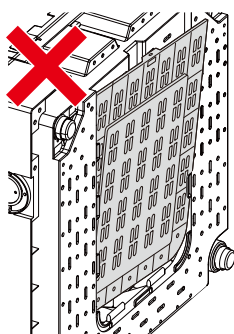


本体上部の水準器で気泡が基準円内に入っていれば水平です。
※気泡が基準円内に入っていない場合は、製品向かって右前の調節脚で高さを調節してください。

- がたつきはないか
- 排水ホースや給水ホース、水栓(蛇口)を圧迫していないか
- 保護カバーが正しく取り付けられているか



保護カバーが、図のように本体底部の上ツメ(8 か所)と下ツメ(9 か所)の間を通すようにして差し込まれている

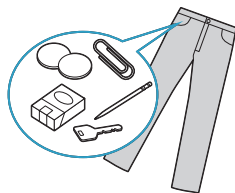


保護カバーが全てのツメの間を通さずに差し込まれている

洗濯物を確認する

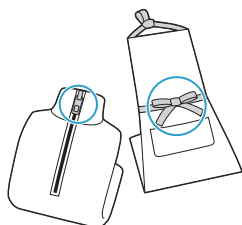
ポケットの中のもの(硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など)は取り除く

- 洗濯物の傷みや排水経路のつまり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。



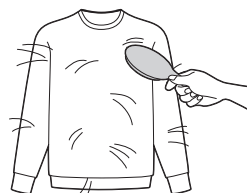
ひもなどは結ぶ
ファスナーは閉める
ボタンや面ファスナー(マジックテープ)はとめる

- 洗濯物がすれたり、からまったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- 排水経路がつまる原因になります。



起毛素材(コーデュロイなど)・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- 摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。



洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませたものを押しつけ、色落ちしないか確認してください。

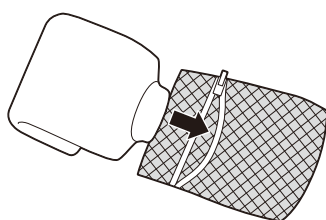
- ・色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- ・タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- ・コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

- ・1枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れる。



- ・衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。
- ・レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ・ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯用ネットに入れて洗ってください。
- ・くつ下などの軽い洗濯物は、脱水時に飛ばされて洗濯・脱水槽と本体のすき間に入り、故障の原因になることがあります。軽い洗濯物は洗濯用ネットに入れて洗ってください。

洗濯物を入れる

- ・洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量	
		通常	「時短」
標準 P41	ふだんの洗濯	10.5kg まで	6.0kg まで
おこのみ P43	おこのみで行程を設定する	10.5kg まで	6.0kg まで
特急(1kg) P46	少量の軽い汚れを短時間で洗濯する	-	化繊 1.0kg まで
手洗い P48	手洗いのように優しく洗濯する	2.0kg まで	1.0kg まで
毛布 P51	毛布を洗濯する	3.0kg まで	2.0kg まで
デリケート P55	布傷みを抑えて洗濯する	3.0kg まで	2.0kg まで
どろ汚れ※1 P58	どろ汚れをしっかりと洗い落とす	3.0kg まで	-

※素材によって重さが異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。

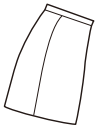
※汚れ落ちや脱水のしぼり具合を良くするために、少なめの量で洗濯をおすすめします。

※ひもなどが出ている場合は、できるだけ結んでください。洗濯・脱水槽から飛び出て、衣類の損傷や洗濯機の故障の原因になります。

※1 約 2 倍の洗剤を用いた洗濯液で洗います。

汚れが溶け出た洗濯液の一部を排水し、もう一度給水して汚れの再付着を防ぎながら洗濯します。([どろ汚れコースのとき P58](#))

衣類の重さ(目安)

		
パジャマ上下 (綿) 約 500g	スカート (混紡) 約 400g	ワイシャツ (混紡) 約 200g
		
アンダーシャツ (綿) 約 130g	シーツ (綿) 約 500g	バスタオル (綿) 約 300g
		
タオル (綿) 約 70g	ブリーフ (綿) 約 50g	くつ下 (混紡) 約 50g

洗濯物の入れかた

重いもの・水に浮きやすいもの・洗濯用ネットに入れた洗濯物から先に入れる

- 水に浮きやすい衣類の例
表地や裏地が化繊 100%のジャンパーなど
フリースなど化繊 100%、または混紡の衣類

洗濯物はできるだけ均一に入れ、よく押し込む

- タオルケットやシーツ・洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗ってください。洗濯物が 1 か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- 水に浮きやすいものだけのときは、給水後一旦運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみ込ませてください。
- 上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは、洗わないでください。

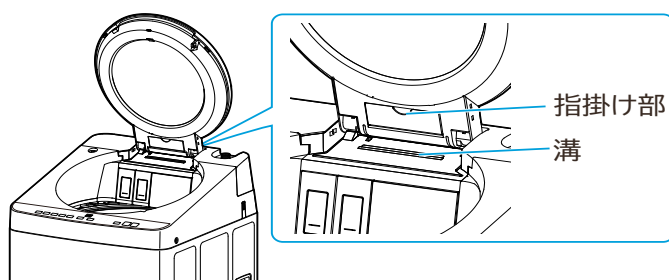
ドアスタンドについて

洗濯機のふたを半開きで保持したまま、衣類の出し入れができます。

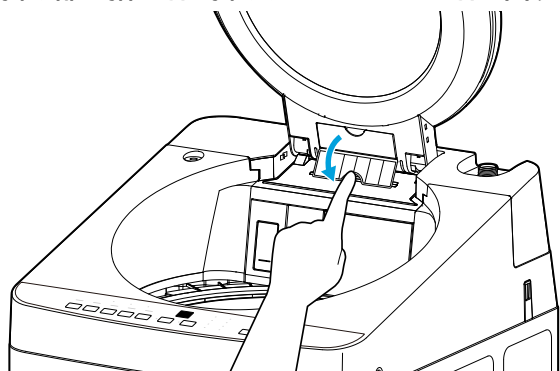
洗濯機の上に棚などがあって、ふたを全開にできないときに使用してください。

ドアスタンドの使用方法

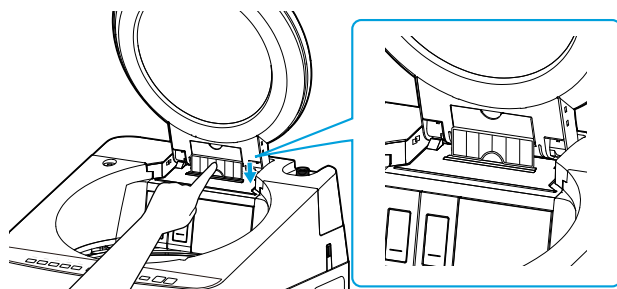
1. ふたを開ける



2. 指掛け部に指を引っ掛け、ドアスタンドを引き出す



3. ドアスタンドを引き出した状態でふたを閉め、ドアスタンドの先端を溝にはめる



※ドアスタンド使用時の全体高さは137cmです。

※ドアスタンドを固定するためには一度141cmまで上げる必要があります。

※ドアスタンドの使用後、ふたを開けるとドアスタンドは自動で収納されます。

※ドアスタンドを使用中に無理にふたを閉めないでください。

液体洗剤・柔軟剤自動投入機能について

洗濯のたびに、使用する水の量に合わせて自動的に液体洗剤・柔軟剤を投入します。

設定を手動投入に切り替えないかぎり、自動で液体洗剤・柔軟剤を投入します。

お買い上げ時は、自動投入機能がオフになっています。

「手洗い」「槽クリーン」コースでは自動投入機能はご使用できません。

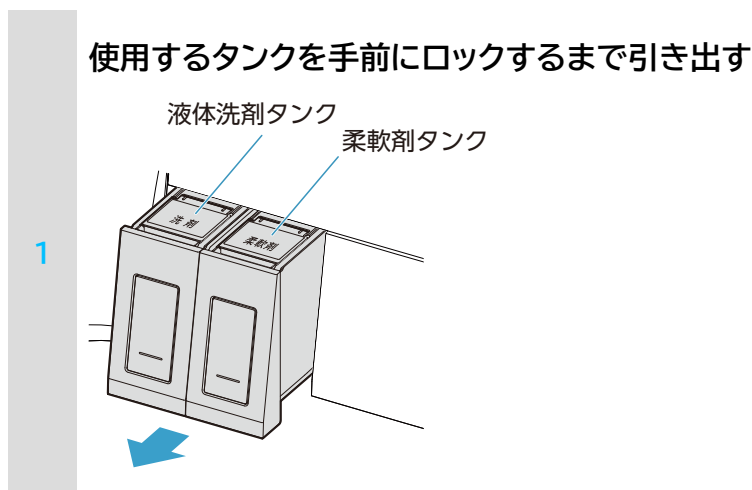
— 洗剤・柔軟剤を入れるときの注意点

○	使える洗剤・柔軟剤 液体洗剤、液体柔軟剤
×	使えない洗剤・柔軟剤 粉石けん、粉末合成洗剤、ジェルボール型洗剤、ビーズ状仕上げ剤

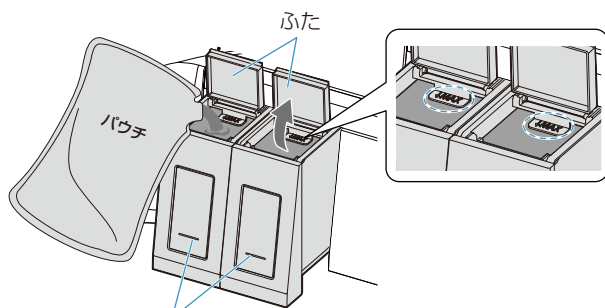
- ・ 漂白剤は自動投入できません。使用する場合は、「[漂白剤の入れかた P39](#)」をご確認ください。

液体洗剤・柔軟剤の入れ方

初めて運転するとき、タンクが空になったとき、[自動洗剤投入タンク・経路 P82](#) 洗浄後には、下記の手順でタンクに液体洗剤・柔軟剤を充填してください。



ふたを開けて、液体洗剤・柔軟剤を入れる



2

目安線

- 「↓MAX」の位置が満タンの目印です。

容量：液体洗剤：約500mL

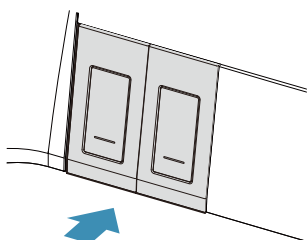
柔軟剤：約500mL



注意

- ・ こぼれてしまった場合は、すぐに清潔なタオルや布などで拭き取り、べたつきが気になる場合は水を含ませかたくしぼったタオルなどで拭く
液体洗剤や柔軟剤がこぼれたまま放置すると、固まって汚れが取れなくなったり、故障の原因になります。

ふたを閉じてタンクをしっかりと奥まで閉じる



3

- ・ 液体洗剤・柔軟剤の残量が、タンクの目安線を下回ったら補充のタイミングです。
- ・ タンクの中に液体洗剤や柔軟剤が残っている状態で、別の銘柄の液体洗剤・柔軟剤を追加しないでください。
- ・ タンクを頻繁に出し入れするとタンク内の液体洗剤や柔軟剤がタンクの接続部から垂れる場合があります。補充のタイミング以外ではタンクは出し入れしないでください。

—タンクに入れづらいときは

液体洗剤タンク・柔軟剤タンクは取り外しての補充も可能です。(→[タンクの取り外し方 P29](#)、[タンクの取り付け方 P29](#))

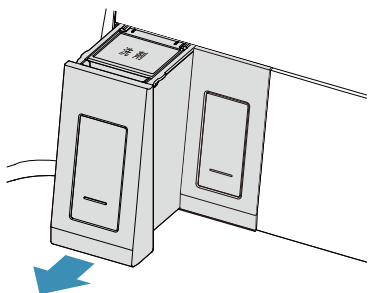
その際、洗濯機本体との接続部から液だれすることがありますので、安定している机やテーブルなどの平らな場所に汚れてもいいタオルや布等を敷いて、その上に置いて作業してください。

※タンクを取り外してお手入れする場合は、[お手入れ 自動洗剤投入タンク P82](#) を参照してください。

—タンクの取り外し方

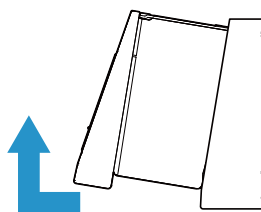
タンクをロックされる位置まで手前に引き出す

1



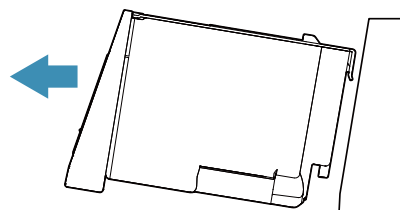
タンクを少し持ち上げてロックを外す

2



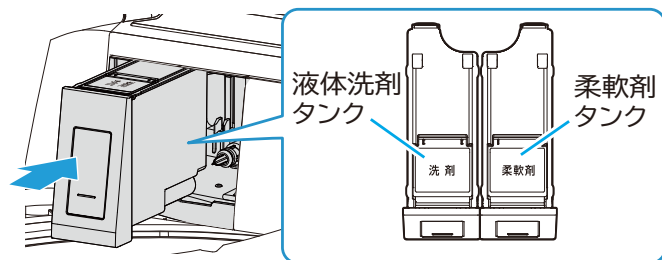
ロックが外れたら、タンクをまっすぐ引き出して取り外す

3



—タンクの取り付け方

タンクを正しい向きでまっすぐ押し込む



※逆向きには取り付けられません。

基準量を設定する

タンクに液体洗剤・柔軟剤を充填したら、液体洗剤・柔軟剤の基準量を設定します。

液体洗剤・柔軟剤の基準量は、水 30L に対しての使用量を設定してください。

基準量とは水 30L に対する液体洗剤・柔軟剤の使用量のことで、銘柄によって異なります。

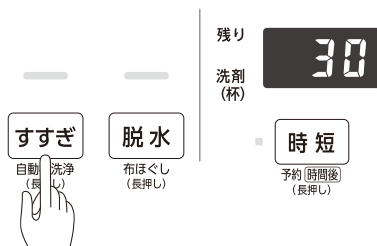
使用する洗剤、柔軟剤のパッケージをご確認ください。

- ・ 液体洗剤・柔軟剤の容器に記載の「水 30L に対する使用量」をご確認ください。
- ・ 使用する液体洗剤・柔軟剤の銘柄を変えるたびに設定が必要です。

1. 電源を入れた状態で基準量を設定するタンクを選び、3 秒以上押します。



2. 基準量を設定します。

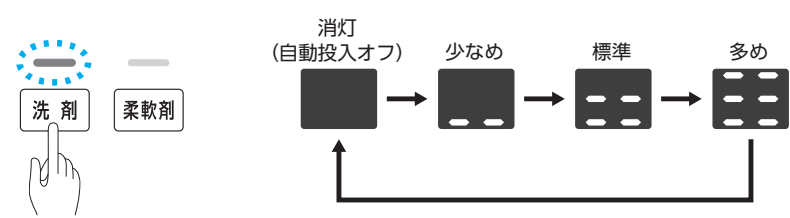


表示部は、「脱水」を押すと(+1)、「すすぎ」を押すと(-1)で増減します。
※液体洗剤、柔軟剤は 3～30mL の間で設定できます。(初期設定は 30mL)

3. 「コース」を押して、設定を完了します。

- ・ 液体洗剤、液体柔軟剤は自動投入で使えますが、粉石けん・粉末合成洗剤・ジェルボール型洗剤・ビーズ状仕上り剤は使えません。
- ・ タンクに入れるときにこぼれた場合は、すぐに清潔なタオルや古布などで拭き取り、べたつきが気になる場合は水を含ませ、かたく絞ったタオルなどで拭いてください。液体洗剤や柔軟剤がこぼれたまま放置すると、固まって汚れが取れなくなったり、故障の原因になります。

液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき



1. 「洗剤」、「柔軟剤」を押すたびに点灯位置が切り替わります。



2. 洗剤ランプ、柔軟剤ランプともに消灯すると、手動投入に切り替わります。
(→[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#))

・「手洗い」「槽クリーン」コースでは設定できません。

液体洗剤自動投入量(基準量 30mL 設定時目安)

水量	液体洗剤		
	少なめ	標準	多め
72L	61.2mL	72.0mL	82.8mL
62L	52.7mL	62.0mL	71.3mL
48L	40.8mL	48.0mL	55.2mL
36L	30.6mL	36.0mL	41.4mL
31L	26.4mL	31.0mL	35.7mL
26L	22.1mL	26.0mL	29.9mL

柔軟剤自動投入量(基準量 30mL 設定時目安)

水量	柔軟剤		
	少なめ	標準	多め
72L	61.2mL	72.0mL	82.8mL
62L	52.7mL	62.0mL	71.3mL
48L	40.8mL	48.0mL	55.2mL
36L	30.6mL	36.0mL	41.4mL
31L	26.4mL	31.0mL	35.7mL
26L	22.1mL	26.0mL	29.9mL

代表的な銘柄の基準量(水 30L に対する使用量)

■液体洗剤

銘柄	基準量	
・アタック抗菌 EX ・ニュービーズ	30mL	30
・アリエール ・ボールド	27mL	27
・さらさ	26mL	26
・アリエール MiRAi	13mL	13
・アタック ZERO ・ナノックス one ・ランドリン ・アリエール 自動投入専用	10mL	10
・アタック ZERO 自動投入専用 ・ナノックス 自動投入専用	6mL	6

■柔軟剤

銘柄	基準量	
・ハミング (非濃縮タイプ)	20mL	20
・さらさ ・レノア	16mL	16
・ランドリン	15mL	15
・ソフラン ・ハミング ・フレア ・イロカ	10mL	10
・ふんわりソフラン	7mL	7

・ハミング消臭実感 自動投入専用	5mL	
---------------------	-----	---

(2026 年 7 月現在)

※表にない液体洗剤・柔軟剤は、容器に記載の説明をご確認ください。

※液体洗剤・柔軟剤の容器に記載の「水 30L に対する使用量」をご確認ください。

洗剤・柔軟剤を手動投入する

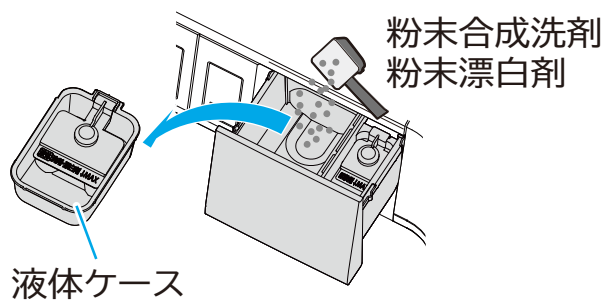
運転開始後に表示部に表示される洗剤量を目安に、洗剤・柔軟剤に付属している計量キャップ・計量スプーンで入れてください。

- ・ 手動投入するときは、**洗剤**、**柔軟剤**を押してランプを消灯させてください。(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))



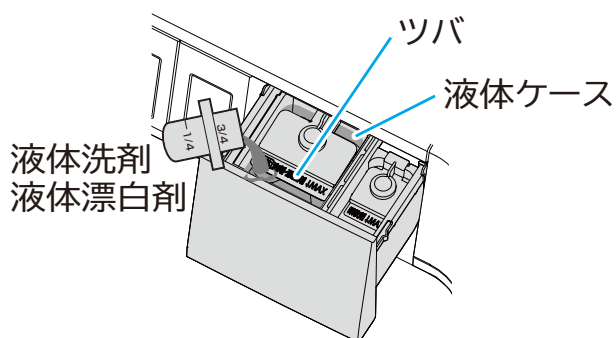
ー洗剤・柔軟剤の入れかた

粉末合成洗剤・粉末漂白剤を入れる



- ・ 粉末合成洗剤・粉末漂白剤を入れるときは、液体ケースを外してください。
- ・ 粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。
- ・ 運転終了後、洗剤ケースに少し水が残る場合がありますが、異常ではありません。

液体洗剤・液体漂白剤を入れる



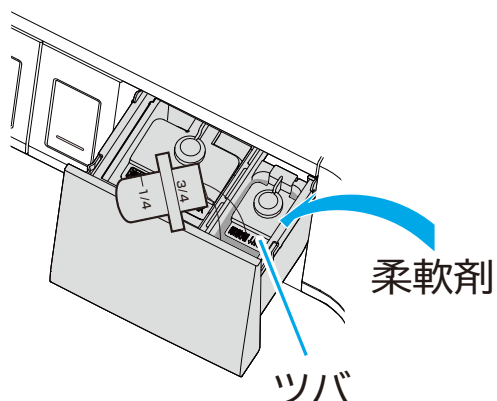
- ・ 液体洗剤・液体漂白剤は「液体洗剤・漂白剤↓MAX」のツバ(130mL)より多く入れないでください。運転開始前に自動的に投入されてしまい、衣類を傷めたり、色落ちの原因となります。
- ・ 運転終了後、洗剤ケースに少し水が残る場合がありますが、異常ではありません。

- ・液体洗剤と粉末漂白剤を組み合わせる場合、液体洗剤は自動投入を使用してください。
※粉末洗剤と液体漂白剤の組み合わせは使用できません。
- ・液体洗剤・液体漂白剤の投入量が合計 100mL を超える場合、洗剤自動投入との併用を推奨します。もしくは、液体洗剤のみを洗濯物に直接かからないよう槽内に入れ、液体漂白剤を液体ケースに入れてください。

粉石けんを入れる

- ・粉石けんは、約 30℃のぬるま湯約 5L をかき回しながら、少しずつ入れて洗剤液を作り、洗濯物の量検知後、約 20 秒間の待機時間内に、洗濯・脱水槽に入れてください。

柔軟剤を入れる



- ・柔軟剤は「柔軟剤↓MAX」のツバ(70mL)より多く入れないでください。運転開始前に自動的に投入されてしまい、柔軟剤の効果が出ません。
- ・種類によっては流れにくいものもあります。同量の水で溶かしてから入れてください。
- ・少量の水と混ぜると固まるものがあります。柔軟剤の説明にしたがってください。
- ・脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。
このため、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。



注意

- ・  を押した後は、洗濯・脱水槽に触れないでください。

洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量

- [合成洗剤\(粉末\) P36](#)
- [合成洗剤\(液体\) P36](#)
- [合成洗剤\(液体中性\) P37](#)
- [柔軟剤 P37](#)
- [酸素系液体漂白剤 P37](#)
- [どろ汚れコースのとき P38](#)

合成洗剤(粉末)

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の表示	水 30L に対する使用量	
			18g	30g
～約 10.5kg	72L	1.0 杯	43g	72g
～約 10.5kg	62L	0.9 杯	37g	62g
～約 6kg	48L	0.7 杯	29g	48g
～約 3kg	36L	0.6 杯	22g	36g
～約 1kg	31L	0.4 杯	19g	31g
～約 0.3kg	26L	0.3 杯	16g	26g

合成洗剤(液体)

衣類の目安量	水量表示	洗剤量の表示	水 30L に対する使用量		
			10mL	25mL	30mL
～約 10.5kg	72L	1.0 杯	24mL	60mL	72mL
～約 10.5kg	62L	0.9 杯	21mL	52mL	62mL
～約 6kg	48L	0.7 杯	16mL	40mL	48mL
～約 3kg	36L	0.6 杯	12mL	30mL	36mL
～約 1kg	31L	0.4 杯	10mL	26mL	31mL
～約 0.3kg	26L	0.3 杯	9mL	22mL	26mL

合成洗剤(液体中性)

衣類の目安 量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量
			40mL
～約 10.5kg	72L	1.0 杯	96mL
～約 10.5kg	62L	0.9 杯	83mL
～約 6kg	48L	0.7 杯	64mL
～約 3kg	36L	0.6 杯	48mL
～約 1kg	31L	0.4 杯	41mL
～約 0.3kg	26L	0.3 杯	35mL

柔軟剤

衣類の目安 量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量		
			7mL	10mL	16mL
～約 10.5kg	72L	1.0 杯	17mL	24mL	38mL
～約 10.5kg	62L	0.9 杯	14mL	21mL	33mL
～約 6kg	48L	0.7 杯	11mL	16mL	26mL
～約 3kg	36L	0.6 杯	8mL	12mL	19mL
～約 1kg	31L	0.4 杯	7mL	10mL	17mL
～約 0.3kg	26L	0.3 杯	6mL	9mL	14mL

酸素系液体漂白剤

衣類の目安 量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量
			20mL
～約 10.5kg	72L	1.0 杯	48mL
～約 10.5kg	62L	0.9 杯	41mL
～約 6kg	48L	0.7 杯	32mL
～約 3kg	36L	0.6 杯	24mL
～約 1kg	31L	0.4 杯	21mL
～約 0.3kg	26L	0.3 杯	17mL

■どろ汚れコースのとき

合成洗剤(粉末)

衣類の目 安量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量	
			18g	30g
～約 3kg	36L	1.2 杯	44g	72g

合成洗剤(液体)

衣類の目 安量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量		
			10mL	25mL	30mL
～約 3kg	36L	1.2 杯	24mL	60mL	72mL

柔軟剤

衣類の目 安量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量		
			7mL	10mL	16mL
～約 3kg	36L	1.2 杯	8mL	12mL	19mL

酸素系液体漂白剤

衣類の目 安量	水量表 示	洗剤量の 表示	水 30L に対する使用量	
			20mL	
～約 3kg	36L	1.2 杯	24mL	

漂白剤を使用する場合は、「→[漂白剤の入れかた P39](#)」をご確認ください。

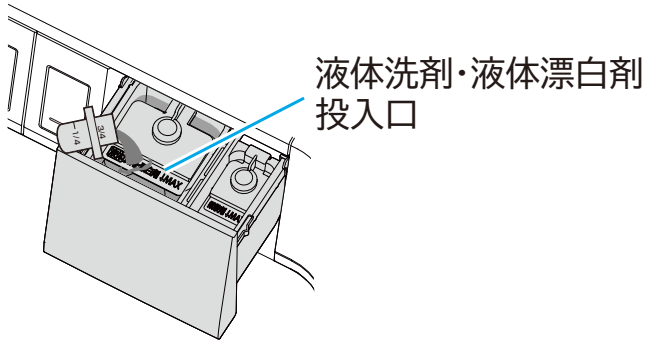
- ・ 洗剤・柔軟剤の容器に記載の「水 30L に対する使用量」をご確認ください。
- ・ 表にない洗剤・柔軟剤は、容器に記載の説明書きをご確認ください。
- ・ 「特急(1kg)」コース、または[時短]機能を使用する場合は、すすぎ 1 回対応の洗剤を使用してください。
- ・ 「毛布」コースでは、液体洗剤を使用してください。
- ・ 「手洗い」コースでは、液体中性洗剤を使用してください。

漂白剤の入れかた

使用量は漂白剤の説明にしたがってください。

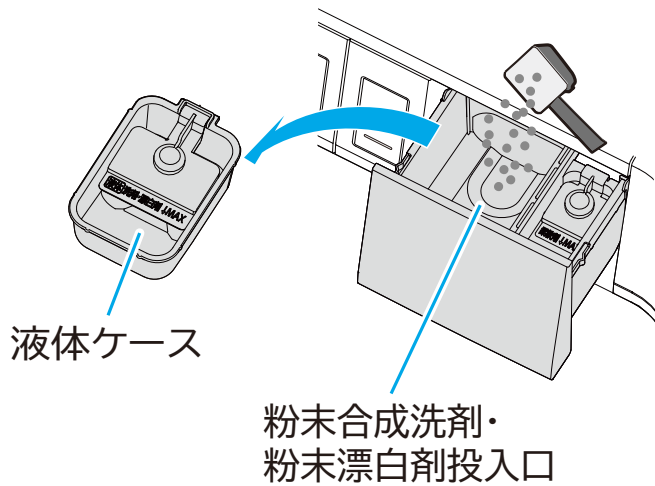
液体漂白剤

液体洗剤・液体漂白剤投入口に入れてください。



粉末漂白剤

粉末合成洗剤・粉末漂白剤投入口に入れてください。



- ・ 粉末漂白剤を入れるときは、液体ケースを外してください。

- ・ 液体洗剤と粉末漂白剤を組み合わせる場合、液体洗剤は洗濯物に直接かからないよう槽内に入れ、粉末漂白剤は粉末合成洗剤・粉末漂白剤投入口に入れてください。
- ・ 液体洗剤・液体漂白剤の投入量が合計 100mL を超える場合、液体洗剤のみを洗濯物に直接かからないよう槽内に入れ、液体漂白剤を液体ケースに入れてください。
- ・ 塩素系漂白剤は 10 倍に薄めて、衣類を避けながら洗濯・脱水槽に直接入れてください。
- ・ 塩素系漂白剤は予約運転時は使用しないでください。金属部の腐食や故障の原因になります。

洗濯

コースを選ぶ

コース	用途
標準 P41	ふだんの洗濯
おこのみ P43	おこのみで行程を設定する
特急(1kg) P46	少量の軽い汚れを短時間で洗濯する
手洗い P48	手洗いのように優しく洗濯する
毛布 P51	毛布を洗濯する
デリケート P55	布傷みを抑えて洗濯する
どろ汚れ P58	どろ汚れをしっかりと洗い落とす

運転内容を変更して洗濯する

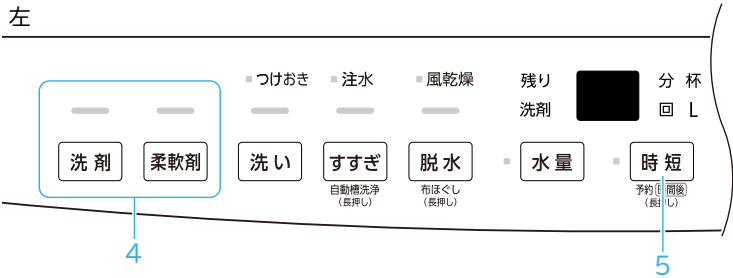
→ [コースの設定を変更して洗濯する P60](#)

予約設定をする

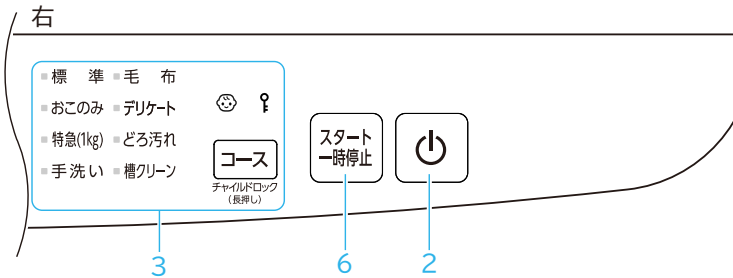
→ [タイマー予約設定 P62](#)

「標準」コース

左

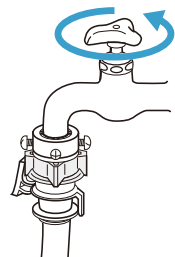


右



水栓を開け、洗濯物を入れる

1



コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
標準	10.5kg まで	6.0kg まで

2



を押して電源を入れる

3



で「標準」コースを選ぶ

4

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

- ・ 、 のいずれかを押すたびに変更されます。

5

必要に応じて **時短** で所要時間を短縮する(→[「時短」機能について P68](#))

- ・ 油污れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

6

スタート
一時停止

を押す

- ・ 洗濯物の量を検知します。

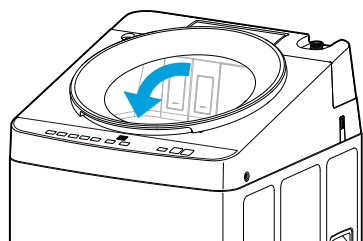
7

洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。

8



9

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

10

糸くずフィルターを掃除する

—洗濯物について

(→[洗濯物について P19](#))

—水量について

- ・ 軽い洗濯物(化繊の衣類・シーツなど)を入れたときは、水量が少なく設定されることがあります。
- ・ また、ぬれた衣類を入れると、水量が多く設定されることがあります。

※水量を変更する場合は、[水量を変更する P69](#) を参照してください。

[illegible]

※「おこのみ」コースでは設定した運転内容を記憶することができます。

コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
おこのみ	10.5kg まで	6.0kg まで



コース

水量・洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を設定する

4

- ・ 水量
 を押して設定します。(→ [水量を変更する P69](#))
- ・ 洗い時間
 を押して設定します。(→ [洗い時間を変更する P70](#))
- ・ すすぎ回数
 を押して設定します。(→ [すすぎ回数を変更する P70](#))
- ・ 脱水時間
 を押して設定します。(→ [脱水時間を変更する P71](#))

5

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→ [液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

- ・ 、 のいずれかを押すたびに変更されます。

6

必要に応じて  で所要時間を短縮する(→ [「時短」機能について P68](#))

- ・ 油污れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

7

 を押す

- ・ 洗濯物の量を検知します。
- ・ このとき運転内容を記憶します。
※水量と予約は記憶されません。

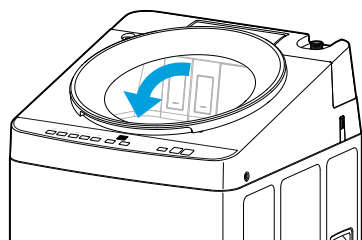
8

洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。

9



10 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

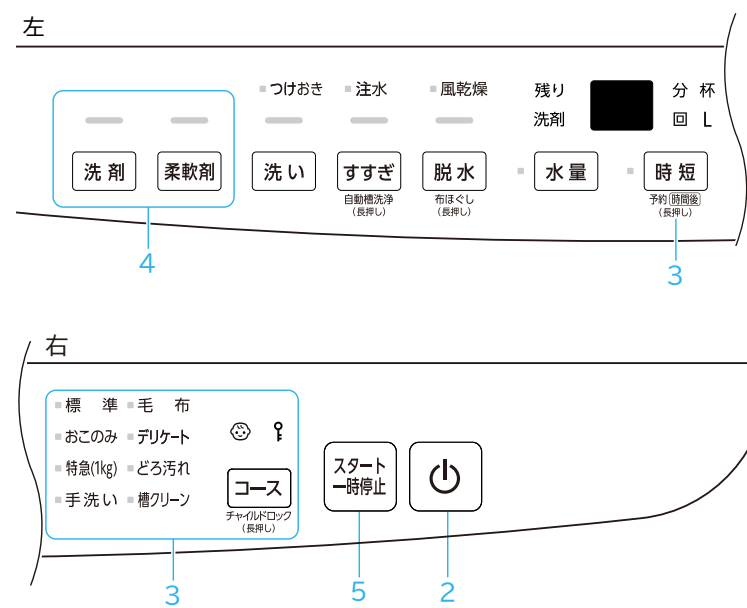
11 糸くずフィルターを掃除する

—洗濯物について

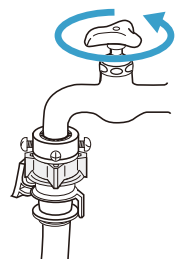
(→[洗濯物について P19](#))

「特急(1kg)」コース

少量の軽い汚れを短時間で洗濯したいとき(化繊 1.0kg まで)



水栓を開け、洗濯物を入れる

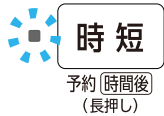


コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
特急(1kg)	-	化繊 1.0kg まで

電源を押して電源を入れる

コースで「特急(1kg)」コースを選ぶ

- 「特急(1kg)」コースを選択すると「時短」ボタンのランプが点灯します。



4

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

- ・ 洗 剤、柔軟剤 のいずれかを押すたびに変更されます。

5

スタート
一時停止

を押す

- ・ 洗濯物の量を検知します。

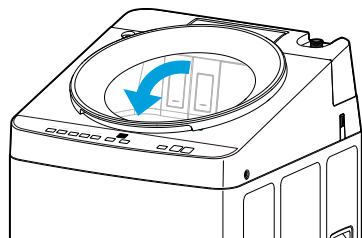
6

洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。

7



8

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

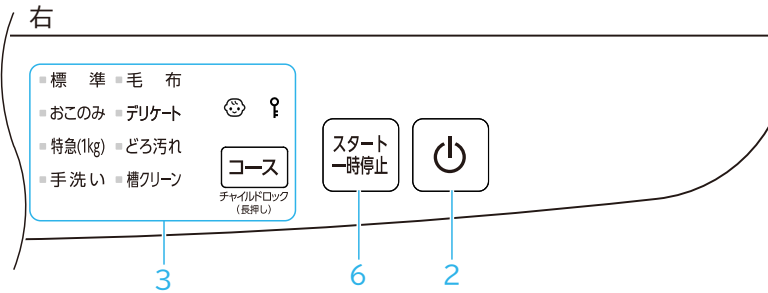
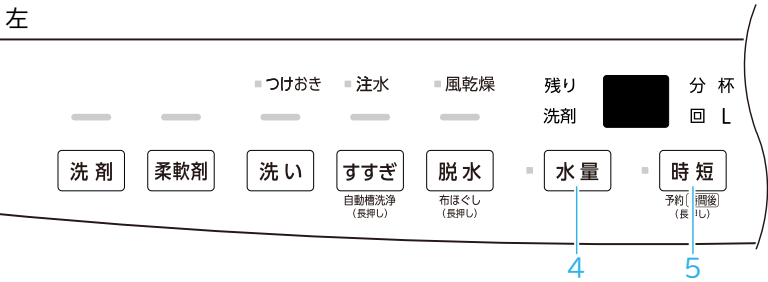
9

糸くずフィルターを掃除する

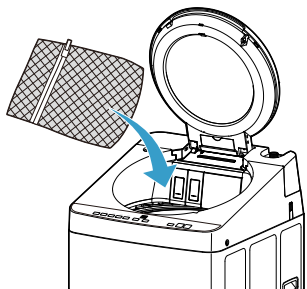
—洗濯物について

(→[洗濯物について P19](#))

「手洗い」コース



水栓を開け、洗濯物を入れる(2.0kg まで)



コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
手洗い	2.0kg まで	1.0kg まで

2  を押して電源を入れる

3  で「手洗い」コースを選ぶ

4  で洗濯物の量に合わせて水量を設定する

- ・ 36L～62L の 3 段階で設定できます。(標準設定は 36L)
(→ [水量を変更する P69](#))

5

必要に応じて **時短** で所要時間を短縮する(→[「時短」機能について P68](#))

- ・油汚れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

6

**スタート
一時停止**

を押す

7

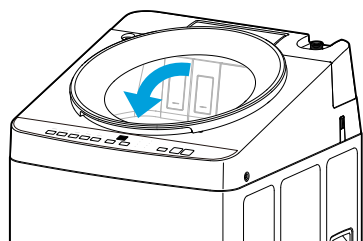
洗剤・柔軟剤を手動で投入する(→[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#))

- ・「手洗い」コースは自動投入はご使用できません。

ふたを閉める

- ・運転が始まります。

8



9

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

10

糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

「手洗い」コースで洗濯できるもの



の表示があるもの

- ・ウールのセーター、カーディガンなど
- ・スラックス、スカート、学生服類
- ・ブラウス、シャツ、ランジェリー類

※上記でも洗えないものがあります。

「手洗い」コースで洗濯できないもの

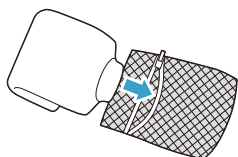
- ・水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの

- ・シルク・レーヨン(ポリノジックを含む)・キュプラおよびその混紡品
(裏地に使われているものでも洗わないでください。)
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工(接着剤を使用したもの)・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの

洗濯物の入れかた

1. デリケートな衣類は 洗濯用ネットに入れる

- ・ 1 枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- ・ 衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。

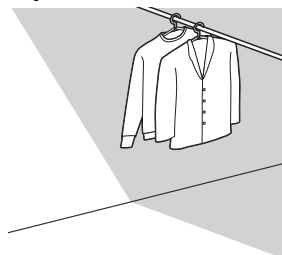


2. 平らになるように重ねて入れる

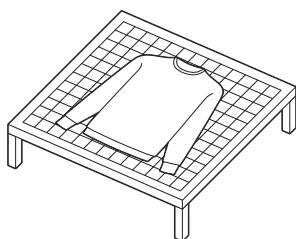
- ・ ネットに入れたセーターなどは、汚れているほうを下にしてください。
- ・ 洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が 1 か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

洗濯物の干しかた

- ・ 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。

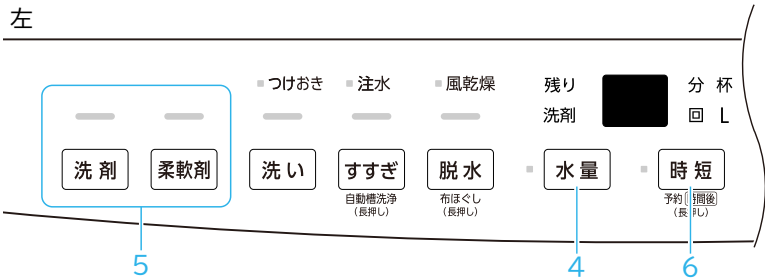


- ・ セーターなどは平干ししてください。

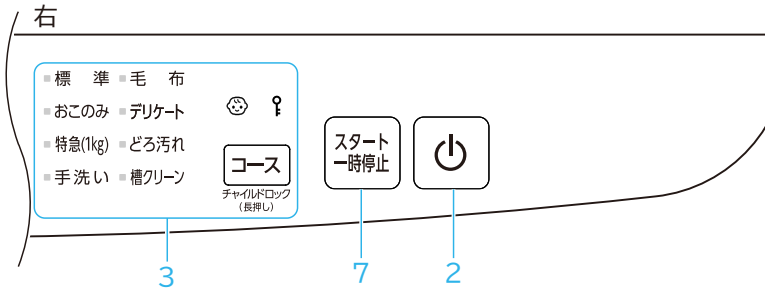


「毛布」コース

左

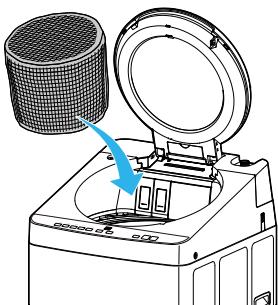


右



水栓を開け、洗濯物を入れる(3.0kg まで)

1



コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
毛布	3.0kg まで	2.0kg まで

2



を押して電源を入れる

3



で「毛布」コースを選ぶ

4



で洗濯物の量に合わせて水量を設定する

- ・ 62L、72L の 2 段階で設定できます。(標準設定は 62L)
(→ [水量を変更する P69](#))

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

5

- ・ 洗 剤、柔軟剤 のいずれかを押すたびに変更されます。

必要に応じて 時 短 で所要時間を短縮する(→[「時短」機能について P68](#))

6

- ・ 油污れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

スタート
一時停止 を押す

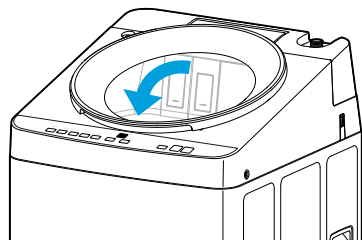
7

8 洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。

9



10 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

11 糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

「毛布」コースで洗濯できるもの

・ 毛布

   の表示がある毛布

 の表示がある毛布

種類:マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布

大きさ:シングルサイズ(140×200cm)まで

- ・ カーペットカバー
- ・ ベッドパッド
- ・ カーテン

「毛布」コースで洗濯できないもの

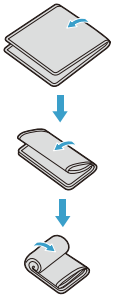
- ・ 毛 100%の毛布・カーペットカバー
- ・ 防水性のあるもの
- ・ 化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- ・ 電気毛布・電気マット

※洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

—毛布の入れかた

1. 折りたたむ

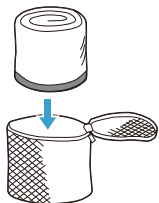
- ・ 折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・ 長いほうを四つまたは八つに折り、短いほうに巻いてください。できるだけ高さを低くするように折ってください。（毛布洗い用の洗濯ネットに入れるため）



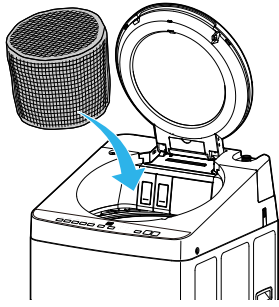
- ・ マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。

2. 洗濯用ネットに入れる

- ・ 必ず毛布洗い用ネットに入れて洗濯してください。
- ・ 毛布洗い用ネットは直径 46cm 以上のものを使用してください。
- ・ 縁のあるほうを下になるように毛布洗い用ネットに入れ、ファスナーを閉めてください。

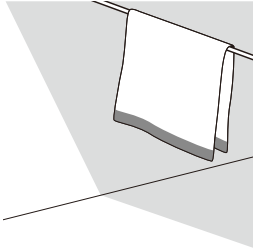


- ・ ファスナーを上側にして、洗濯・脱水槽に入れてください。

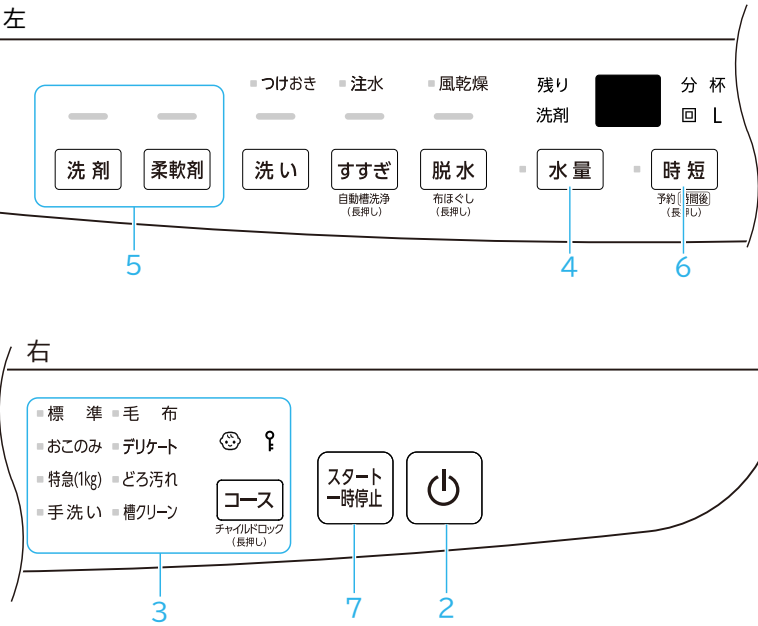


—毛布の干しかた

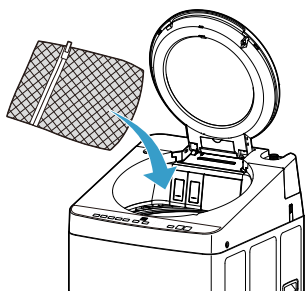
- 洗濯物を取り出すときは、ファスナーを開けて、先に毛布を取り出してください。
- 風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



「デリケート」コース



水栓を開け、洗濯物を入れる



コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
デリケート	3.0kg まで	2.0kg まで

電源ボタンを押して電源を入れる

コースで「デリケート」コースを選ぶ

水量で洗濯物の量に合わせて水量を設定する

- ・ 36L～62L の 3 段階で設定できます。(標準設定は 36L)
(→ [水量を変更する P69](#))

5

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

- ・ 洗 剤、柔軟剤 のいずれかを押すたびに変更されます。

6

必要に応じて 時 短 で所要時間を短縮する(→[「時短」機能について P68](#))

- ・ 油污れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

7

スタート
一時停止

を押す

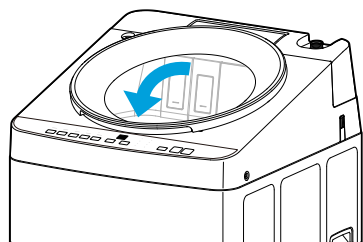
8

洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#)、[洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量 P36](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。

9



10 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

11 糸くずフィルターを掃除する

ー洗濯物について

「デリケート」コースで洗濯できるもの



の表示があるもの

「デリケート」コースで洗濯できないもの



の表示があるもの

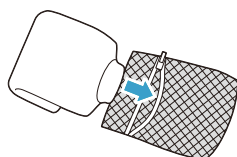
- ・ ウールのセーター、カーディガンなど
- ・ スラックス、スカート、学生服類

- ・ブラウス、シャツ、ランジェリー類

洗濯物の入れかた

1. デリケートな衣類は 洗濯用ネットに入れる

- ・ 1 枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。
- ・ 衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。

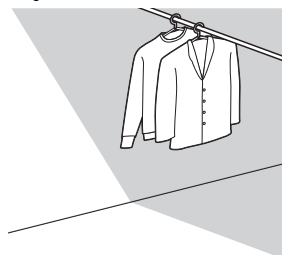


2. 平らになるように重ねて入れる

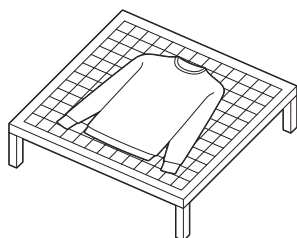
- ・ ネットに入れたセーターなどは、汚れているほうを下にしてください。
- ・ 洗濯用ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯用ネットの衣類だけだと衣類が 1 か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

洗濯物の干しかた

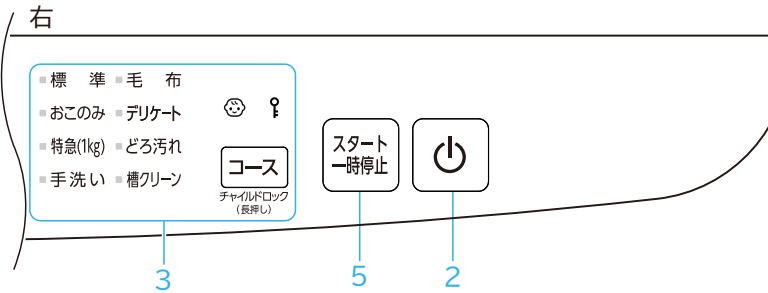
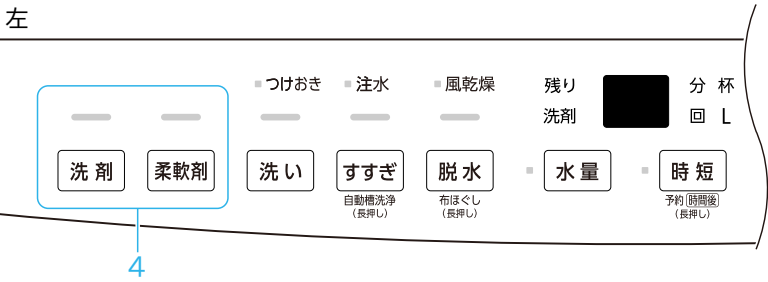
- ・ 洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



- ・ セーターなどは平干ししてください。



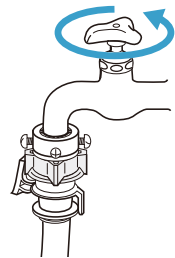
「どろ汚れ」コース



水栓を開け、洗濯物を入れる(3.0kg まで)

- ・ 砂や小石、草木など大きなものは、あらかじめ衣類から取り除いて洗濯してください。故障の原因になります。

1



コース	洗濯できる量	
	通常	「時短」
どろ汚れ	3.0kg まで	-

※「どろ汚れ」コースは「時短」モードを選択できません。

2



を押して電源を入れる

3



で「どろ汚れ」コースを選ぶ

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

4

- ・ 洗 剤、柔軟剤 のいずれかを押すたびに変更されます。
(本コースは、約 2 倍の洗剤を用いた洗濯液で洗います。)

5

スタート
一時停止

を押す

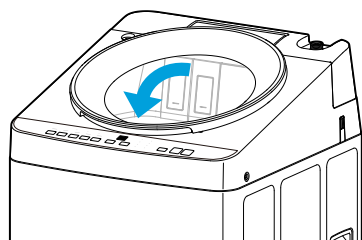
6

洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#)、[洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量「どろ汚れ」コースのとき P38](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ 運転が始まります。
- ・ 汚れが溶け出した洗濯液の一部を排水し、もう一度給水と洗剤を投入して汚れの再付着を防ぎながら洗濯します。

7



8

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

9

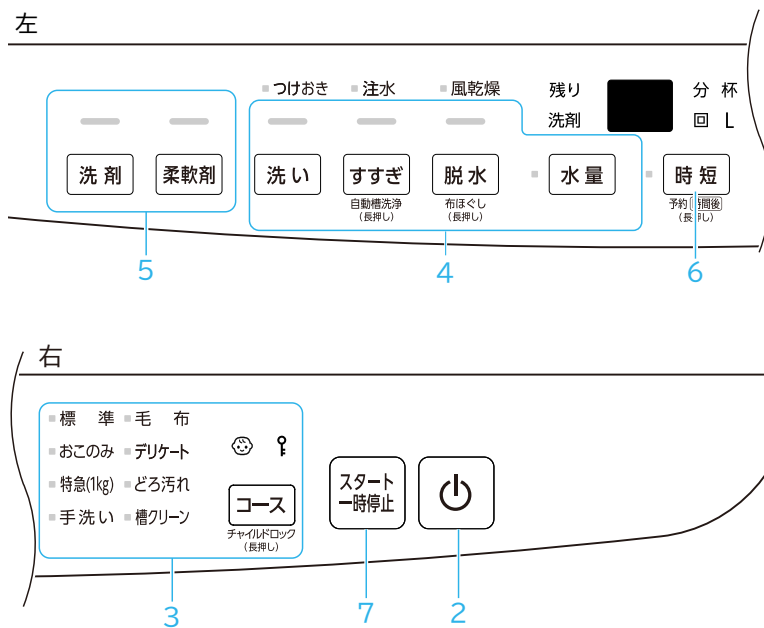
糸くずフィルターを掃除する

—洗濯物について

(→[洗濯物について P19](#))

- ・ 砂や小石、草木など大きなものは、あらかじめ衣類から取り除いて洗濯してください。
故障の原因になります。
- ・ 汚れがひどい、または時間が経ってシミになっている場合、「どろ汚れ」コースを使用しても汚れが落ちにくいことがあります。
部分汚れ用洗剤や浴用石けんを汚れに直接塗り、もみ洗いするなどの前処理をしてください。
汚れは放置すると落ちにくくなります。汚れたら速やかに洗濯してください。

コースの設定を変更して洗濯する

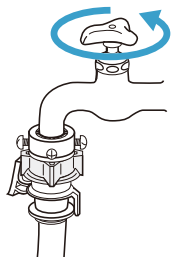


洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの行程単独での運転も可能です。

※コースによっては設定できない場合があります。

水栓を開け、洗濯物を入れる

1



2



を押して電源を入れる

3



でコースを選ぶ

必要に応じて水量・洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を設定する

4

・水量



を押して設定します。(→ [水量を変更する P69](#))

・洗い時間



を押して設定します。(→ [洗い時間を変更する P70](#))

- すすぎ回数

すすぎ

を押して設定します。(→[すすぎ回数を変更する P70](#))

- 脱水時間

脱水

を押して設定します。(→[脱水時間を変更する P71](#))

5

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

- 洗剤、柔軟剤のいずれかを押すたびに変更されます。

6

必要に応じて 時短 で所要時間を短縮する(→[「時短」機能について P68](#))

- 油污れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

7

スタート
一時停止

を押す

- 水量が設定されていない場合、洗濯物の量を検知します。

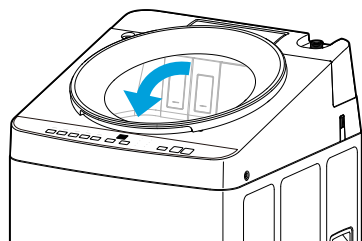
8

洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#) を参照する

ふたを閉める

- 運転が始まります。

9



10

洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

11

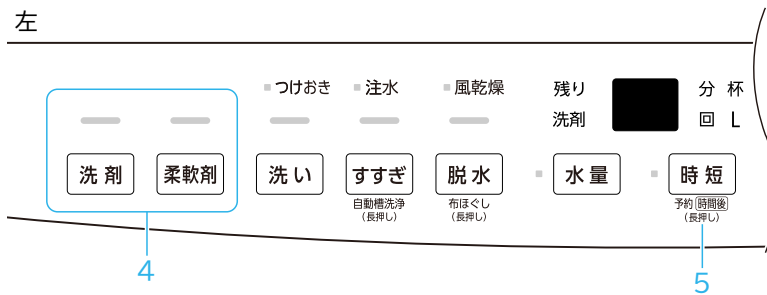
糸くずフィルターを掃除する

—洗濯物について

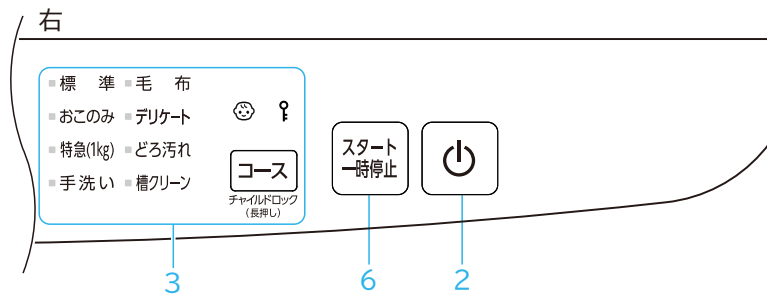
(→[洗濯物について P19](#))

タイマー予約設定

左

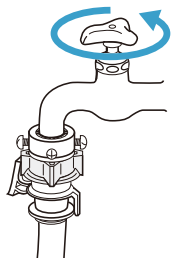


右



水栓を開け、洗濯物を入れる

1



2



を押して電源を入れる

3



でコースを選ぶ

4

自動投入を使用する場合は、液体洗剤・柔軟剤の投入量を選ぶ(→[液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

- ・ 、 のいずれかを押すたびに変更されます。

時短 を 2 が表示されるまで長押しする

2 が表示されたら設定したい時間まで **時短** を繰り返し押して設定する



- ・ 2～24 時間後までを 1 時間ごとに設定できます。
- ・ コースの最低運転時間以下には設定できません。
- ・ 「手洗い」、「槽クリーン」コースでは設定できません。

**スタート
一時停止** を押す

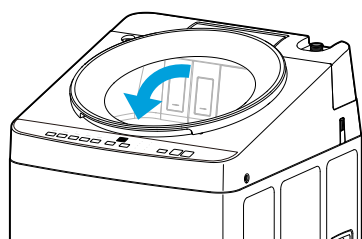
- ・ 水量が設定されていない場合、洗濯物の量を検知します。

7 洗剤・柔軟剤を手動で投入する場合は、[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#) を参照する

ふたを閉める

- ・ ふたを閉めると、予約時間が表示され、予約ランプが点滅します。

予約を取り消すには、 を押して、電源を切ってください。
予約を変更するには、電源を入れ直して設定し直してください。



9 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出す

10 糸くずフィルターを掃除する

—洗濯物について

(→ [洗濯物について P19](#))

コース一覧

→標準、おこのみ、特急(1kg)、手洗い P65

→毛布、デリケート、どろ汚れ、槽クリーン P65

標準、おこのみ、特急(1kg)、手洗い

コース	標準		おこのみ		特急(1kg)		手洗い	
用途	ふだんの洗濯		おこのみで行程を設定する		少量の軽い汚れを短時間で洗濯する		手洗いのように優しく洗濯する	
	通常	「時短」	通常	「時短」	通常	「時短」	通常	「時短」
洗濯できる量	10.5kgまで	6.0kgまで	10.5kgまで	6.0kgまで	-	化繊 1.0kgまで	2.0kgまで	1.0kgまで
タイマー予約運転	○		○		○		-	
風乾燥	○		○		○		-	
所要時間(目安) ^{※1※6}	39分	28分	※4		-	9分	53分	29分
水量	26~72L ^{※2}	26~62L	26~72L ^{※2※3}	26~62L ^{※3}	-	26L	36~62L	31L
洗い	8分	6分	※4		-	1分	15分	6分
すすぎ	2回		※4		-	1回	2回	
脱水	7分	5分	※4		-	1分	1分	

毛布、デリケート、どろ汚れ、槽クリーン

コース	毛布		デリケート		どろ汚れ		槽クリーン	
用途	毛布を洗濯する		布傷みを抑えて洗濯する		どろ汚れをしっかりと洗い落とす		通常:洗濯・脱水槽のかび臭さ・汚れを落とす、洗濯物へ洗剤かすが付着しないようにする 「時短」:日頃のお手入れとして	
	通常	「時短」	通常	「時短」	通常	「時短」	通常	「時短」
洗濯できる量	3.0kgまで	2.0kgまで	3.0kgまで	2.0kgまで	3.0kgまで	-	-	-
タイマー予約運転	○		○		○		-	
風乾燥	-		-		-		-	
所要時間(目安) ^{※1※6}	64分	49分	48分	34分	57分	-	212分	115分
水量	53~72L ^{※2}	62L	36~62L	36~48L	36L ^{※7}	-	62L	
洗い	10分	6分	6分	4分	15分	-	60分	30分
すすぎ	2回	2回(注水) ^{※5}	2回		2回	-	4回(注水) ^{※5}	3回(注水) ^{※5}
脱水	12分	7分	1分		7分	-	26分	12分

手洗い、毛布、槽クリーンの水量は固定です。

風乾燥は 3 時間設定の場合、容量は化繊 2.0kg まで使用可能です。(→[風乾燥 P73](#))

※1 所要時間は水量によって変化します。所要時間は、給水(15L／分で計算)・排水の時間が含まれます。

※2 最高水量(72L)は手動でのみ設定できます。

※3 水量は記憶されません。

※4 「おこのみ」コースで記憶された設定内容に基づきます。

※5 「注水すすぎ」が設定されている場合は下記のように点灯します。



(例:注水すすぎ)

「標準」、「おこのみ」コースは 1 回目:シャワーすすぎ 2 回目:ためすすぎ を行います。

「手洗い」、「毛布」、「デリケート」コースは 1 回目:ためすすぎ 2 回目:ためすすぎ を行います。

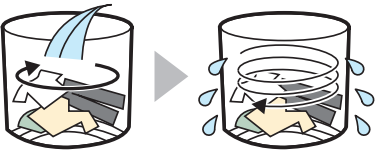
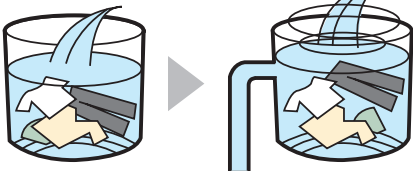
「槽クリーン」コースは 1 回目:ためすすぎ 2 回目:ためすすぎ 3 回目:ためすすぎ を行います。(→[すすぎ回数を変更する P70](#))

すすぎの種類

すすぎは 3 種類あります。

「シャワーすすぎ」と「ためすすぎ」は、あらかじめ設定されているので選べません。

「注水すすぎ」は 1～3 回で選ぶことができ、「ためすすぎ」が「注水すすぎ」に変わります。「シャワーすすぎ」は変わりません。

シャワーすすぎ		洗濯・脱水槽をゆっくり回転させながら、少ない水で洗剤を排出します。 あらかじめ洗剤を排出しておくことで、続く 2 回目のすすぎで効果的に洗剤をすすぎ落とすことができます。 (水は指定水量までたまりません。)
注水すすぎ	(給水) 	指定水量まで水をため、給水しながらすすぎます。 (水はあふれません。)
ためすすぎ		水をためてすすぎます。

※6 脱水後布ほぐし機能が設定されている場合、所要時間は 1 分長くなります。

※7 どんろ汚れコースでは 36L で洗濯を開始し、洗濯中の泥の再付着を防ぐために途中で排水や給水による水位の変更を自動で行います。

標準・おこのみコースの水量

LED 表示						
設定水量(L)	26	31	36	48	62	72
設定洗剤量(杯)	0.3	0.4	0.6	0.7	0.9	1.0

「時短」機能について

各コースに応じて汗汚れなどの軽い汚れを対象に、短時間で洗濯する「時短」モードを選択できます。

※油汚れなどの落ちにくい汚れには通常モードを使用してください。

コース選択後に **時短** のランプが点滅しているコースは、**時短** を押すことでランプが点灯になり、所要時間を短縮することができます。

「時短」を設定した場合の洗濯できる量と所要時間の目安については[コース一覧 P65](#) を参照してください。

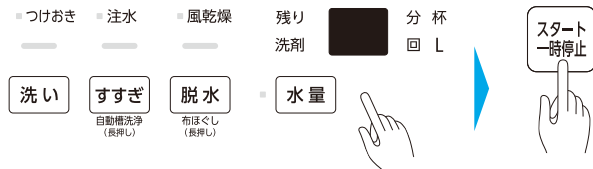


「どろ汚れ」コースでは設定できません。

運転内容の変更

コースを選んだ後、各ボタンを押すと運転内容を変更することができます。

- ・ コースによって設定できる内容が異なります。また、変更できないコースもあります。
- ・ 「洗い」「脱水」の設定時間は、実際の運転内容とは異なります。



→ [水量を変更する P69](#)

→ [洗い時間を変更する P70](#)

→ [すすぎ回数を変更する P70](#)

→ [脱水時間を変更する P71](#)

- ・ 設定後、を押すと設定した内容で運転を開始します。

水量を変更する

水量を設定できます。

※「標準」コースなら 6 段階(26・31・36・48・62・72L)で設定した水量は表示部に表示されます。



(例:水量 62L)

- ・ 最高水量(72L)は、手動のみ設定可能です。

— 洗い時間を変更する

洗い時間を設定できます。

※「標準」コースなら 5 段階(0・6・8・12・15 分)で設定時間は表示部に表示されます。

■ つけおき



(例: 洗い 15 分)

- ・ 0分に設定時は洗い行程はせず、すすぎの前の脱水から行います。洗いのランプは消灯します。
- ・ つけおきランプが点灯している場合はつけおき行程から運転を開始します。
- ・ つけおき行程は洗い時間 15 分のみ設定できます。
- ・ つけおき行程を追加したいときは、つけおきランプが点灯するまで、**洗い** を繰り返し押してください。

— すすぎ回数を変更する

すすぎ回数を設定できます。

※「標準」コースなら 4 段階(0・1・2・3 回)で回数は表示部に表示されます。

■ 注水



(例: すすぎ 2 回)

- ・ 0回に設定時はすすぎ行程はせず、すすぎのランプは消灯します。
- ・ 「標準」「おこのみ」コースですすぎ回数を 2 回以上に設定すると、1 回目のすすぎはシャワーすすぎになります。

- ・注水ランプが点灯している場合はすすぎ行程が注水すすぎになります。
- ・注水すすぎを設定したい場合は、**すすぎ** を押して、注水ランプを点灯させてください。
- ・すすぎ 1 回はすすぎ 1 回対応の洗剤を使用してください。



(例:注水すすぎ)

- ・「標準」コースのすすぎ1回目はシャワーすすぎを行います。
- ・シャワーすすぎは、槽を回転させて給排水しながら行います。
※ 槽に水はたまりません。
- ・注水すすぎは、たっぷりの水で念入りにすすぎます。

—脱水時間を変更する

脱水時間を設定できます。

※「標準」コースなら 5 段階(0・5・7・10・12 分)で設定時間は表示部に表示されます。

■風乾燥



(例:脱水 10 分)

- ・0分に設定時は脱水行程はせず、脱水のランプは消灯します。
- ・風乾燥ランプが点灯している場合は風乾燥になります。

その他の機能

―「おこのみ」コースの運転内容設定

「おこのみ」コースでは設定した運転内容を記憶することができます。

- ・「おこのみ」コースを選択した後、運転内容を変更し、を押すことで運転内容が記憶されます。(初期設定は「標準」コースと同じ)

―つけおき

汚れの多いものを洗濯するときに使用します。

洗濯開始前に 30 分のつけおき動作を行います。

動作中はつけおきのランプが点滅し、終了するとランプが消灯し、洗いの行程に移ります。

- ・使用できるコース:「標準」「おこのみ」「手洗い」「毛布」「デリケート」「どろ汚れ」「槽クリーン(槽洗浄)」
※「槽クリーン(槽洗浄)」コースはつけおき設定の切り替えはできません。
※洗い行程がない場合は設定できません。

―注水すすぎ

たっぷりの水で念入りにすすぎます。

通常の水量に加えて、水を加えながらすすぎを行います。

- ・使用できるコース:「標準」「おこのみ」「手洗い」「毛布」「デリケート」「どろ汚れ」「槽クリーン(槽洗浄)」
※「槽クリーン(槽洗浄)」コースは注水すすぎ設定の切り替えはできません。
※すすぎ行程がない場合は設定できません。

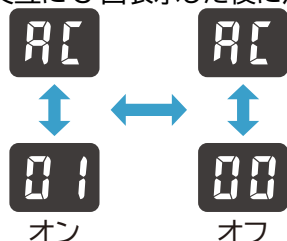
―自動槽洗浄

- ・すすぎの水を利用し、槽を回転させることによって洗濯・脱水槽に付着した目に見えない汚れを自動で洗浄します。
- ・オン設定中は、「標準」「おこのみ」「デリケート」「どろ汚れ」のいずれかのコース(水量が 36L 以上)で、最終脱水前に自動で槽洗浄をします。
- ・脱水のみの運転の場合は、自動槽洗浄はしません。

設定方法

を押して電源を入れた後、を 3 秒以上押す

- ・3 秒以上押すたびに設定が切り替わります。(初期設定はオフ)
- ・交互に 3 回表示した後に消灯します。



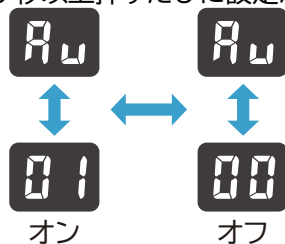
—脱水後の布ほぐし機能

- ・衣類のからみを低減します。布ほぐしを行うことで衣類が取り出しやすくなります。
- ・オン設定中は、「標準」「おこのみ」「どろ汚れ」のいずれかのコース(水量が 36L 以上)で、脱水終了後に 1 分間の衣類のほぐし動作をします。
- ・脱水のみの運転の場合は、ほぐし動作はしません。

設定方法

 を押して電源を入れた後、 を 3 秒以上押す

- ・ 3 秒以上押すたびに設定が切り替わります。(初期設定はオフ)



—風乾燥

風乾燥は槽を回転させることで発生する風を利用して、水分を飛ばします。

1 時間、3 時間で設定できます。

- ・ 1 時間:部屋干しの時間を短縮できる(容量は各コースにしたがう)
- ・ 3 時間:化繊 2.0kg まで簡易乾燥できる

※条件によっては湿っている場合もあります。

※ヒーターは使用していません。

時間の切り替え

 を押して電源を入れた後、風乾燥ランプが点滅するまで  を押す

- ・ 風乾燥ランプが点滅するまで繰り返し押す。1 時間に設定されます。



- もう一度押すと、3 時間に切り替わります。



- もう一度 1 時間に戻す場合は、ボタンを風乾燥が点滅するまで繰り返し押してください。

チャイルドロック・ふたロック

—チャイルドロックについて

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、チャイルドロックモードを設定することができます。



コース

チャイルドロック
(長押し)

コース

を 3 秒以上押すと、チャイルドロックモードの入／切が切り替わります。

- ・チャイルドロックモードが設定されている間は、表示部には運転時間と交互に  が表示されます。
- ・チャイルドロックモードを入にすると、解除するまでふたのロックが自動でかかります。



- ・チャイルドロック設定中は、電源が入っていない消灯した状態でもふたロックがかかります。ふたを無理に開けると故障の原因になります。

—ふたロックについて

運転中はふたロックがかかります。



コース

チャイルドロック
(長押し)

ふたロックを解除するには

洗濯の途中でふたロックを解除するには、 を押してください。

- ・脱水の途中で  を押したときは、洗濯・脱水槽が停止してからふたロックが解除されます。

お手入れ

お手入れについて



- ・ お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

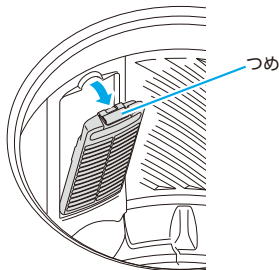
お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
毎回	糸くずフィルター P77	水洗い
汚れたら	本体外側 P78 、 自動投入タンク取り付け部 P78	汚れの拭き取り
汚れたら	洗剤投入ケース P79	水洗い
1 か月に 1 回程度	洗濯・脱水槽	槽クリーン(槽洗浄) P80
定期的に	洗濯・脱水槽	槽クリーン(槽乾燥) P81
・ 3 か月に 1 回程度 ・ 使用する液体洗剤や柔軟剤を変更するとき ・ 1 か月以上使用しなかったとき ・ タンクのふたを開けたまま放置したとき ・ 使用中の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になるなど変質したとき		
	自動洗剤投入タンク・経路 P82	洗浄

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。

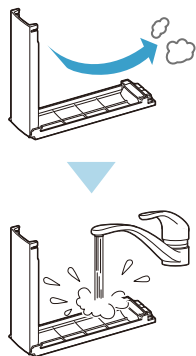
糸くずフィルター

毎回 糸くずフィルターは、フィルターカバーを開けて糸くずを取り除き、水洗いする

- ・ フィルターケースを取り外すときは、上部のつめを押し下げて外してください。



糸くずフィルターは、フィルターカバーを開けて糸くずを取り除き、水洗いする



- ・ フィルターケースを取り付けるときは、下端を差し込んで、上部をカチッとなるまで押し込んでください。



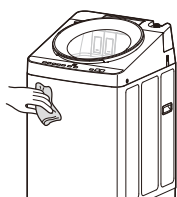
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

本体外側

汚れたら

本体外側は、よくしぼったやわらかい布で汚れを拭き取る

- ・ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたくしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- ・ 本体(特にふたや操作パネル)に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。



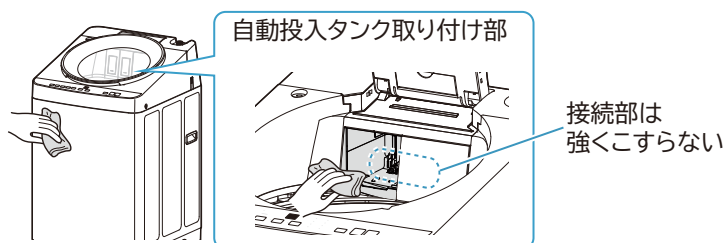
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

自動投入タンク取り付け部

汚れたら

自動投入タンク取り付け部は、よくしぼったやわらかい布で汚れを拭き取る

- ・ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、かたくしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- ・ 自動投入タンク取り付け部内の接続部は強くこすらないでください。パッキンが破れて洗剤や柔軟剤が流れ出たり、自動投入ができなくなったりするおそれがあります。



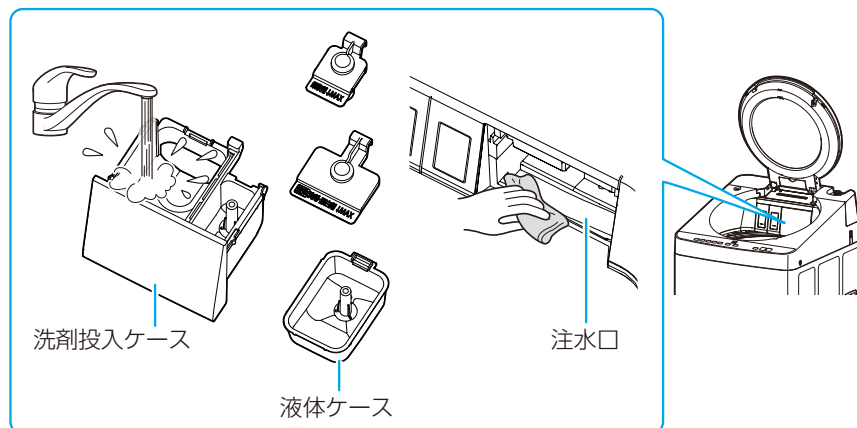
- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

洗剤投入ケース

汚れたら

洗剤投入ケースは、外して水洗いする

- ・ 洗剤投入ケースを外したときに、注水口の汚れを拭き取ってください。



- ・ シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

槽クリーン(槽洗浄)

1 か月に 1 回程度

※衣類は入れないでください。

1



を押して電源を入れる

2



で「槽クリーン」コースを選ぶ

3

必要に応じて  で脱水時間を設定する

- ・ 4段階(0・5・7・26 分)脱水時間は表示部に表示されます。

4



ふたを閉め、を押して給水を開始する

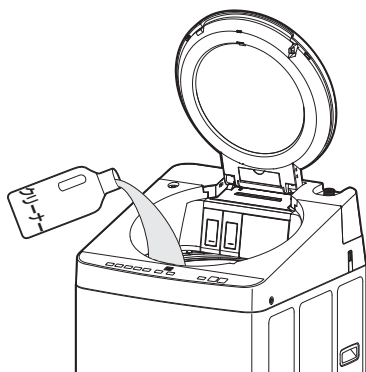
5



給水終了後、を押してふたを開ける

塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを投入する

6



7



ふたを閉め、を押す

- ・ 槽洗浄が始まります。

8

槽洗浄が終了したら、糸くずフィルターを掃除する

- ・ 槽洗浄には市販の塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーを使用してください。
- ・ 塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
- ・ 塩素系漂白剤に表示がない場合は、約 300mL 使用してください。

槽クリーン(槽乾燥)

定期的に(1週間に1回程度)

洗濯・脱水槽とパルセーターが高速で回転し、洗濯・脱水槽を乾燥させます。

※衣類は入れないでください。

- 1  を押して電源を入れる
- 2  で「槽クリーン」コースを選ぶ
- 3  で洗いを0に設定
- 4  ですすぎを0に設定
- 5  を押す
 - ・ 槽乾燥が始まります。

- ・ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。(→[槽洗浄 P80](#))

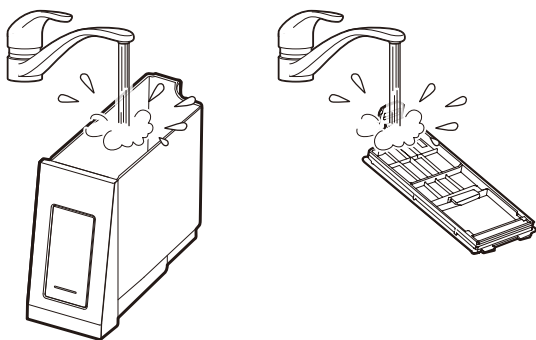
自動洗剤投入タンク・経路

- ・ 3 か月に 1 回程度
- ・ 使用する液体洗剤や柔軟剤を変更するとき
- ・ 1 か月以上使用しなかったとき
- ・ タンクのふたを開けたまま放置したとき
- ・ 使用中の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になるなど変質したとき

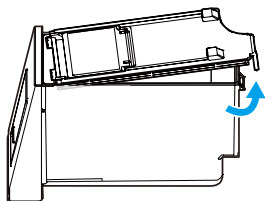
※衣類は入れないでください。

タンクふたを外してタンクの内側とタンクふたを水洗いする

- ・ タンクの中とタンクふたを水でよく洗ってください。
- ・ 汚れがひどいときはぬるま湯(40℃以下)で洗ってください。
- ・ 洗い終わったらタンクふたを元に戻してください。

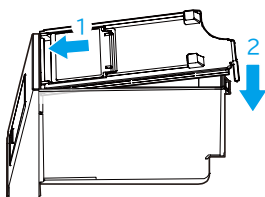


1 —タンクふたの外しかた



タンク背面の爪を外してタンクふたを外してください。

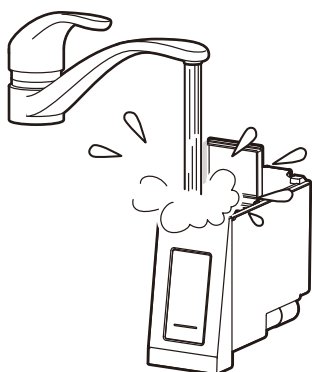
—タンクふたの組み立てかた



手前をはめてから爪が掛かるまでふたを倒してください。

タンクにぬるま湯(40℃以下)を満杯まで入れ、本体にセットする

2



3



を押して電源を入れる

洗 剤

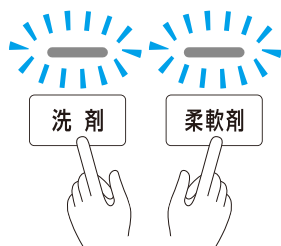
と

柔軟剤

を同時に 3 秒以上押す

- ・ ランプが点滅します。

4



5

洗浄するタンク(洗 剤 、 柔軟剤)を選んでボタンを押す

6



を押す

- ・ 洗浄が始まります。

7

洗浄が終了したら、タンクを取り外して中の水を捨て、水分をしっかりと切る

8

タンクをセットした後、液体洗剤・柔軟剤を充填する(→[液体洗剤・柔軟剤の入れ方 P27](#))

- ・ 自動投入タンク・経路を洗浄するときは、衣類を入れないでください。

こんなときは 困ったときは

修理を依頼する前に、以下の項目をご確認ください。

洗濯機の状態によっては、故障ではない場合があります。
下記のページでは、主な対処法をまとめています。修理を依頼する前にご確認ください。

■「洗濯機 / 生活家電」のお役立ち動画はこちら
<https://www.irisohyama.co.jp/support/movies/70>

— 洗濯がスタートしない

→電源が入っていますか？



を押して電源を入れてください。

→ふたがきちんと閉まっていますか？

ふたをきちんと閉めてください。また、ふたの下に異物がはさまっていないか確認してください。

→タイマー予約の設定になっていませんか？

すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。

— 電源が入らない

→電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

— ふたが開かない

→運転中に停電しませんでしたか？

運転中に停電したときは、を押して電源を入れてください。

→チャイルドロックを設定していませんか？

チャイルドロックを解除してください。(→[チャイルドロックについて P75](#))

— 水もれする

→給水ホースが水栓と確実に接続されていますか？

給水ホースを水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)

→給水ホースのコネクターと水栓が合っていますか？

給水ホースのコネクターと水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)

→給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていますか？

給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)

→排水ホースが排水口から外れていませんか？

洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。

→排水口がつまっていますか？

排水口を掃除してください。

— 初めて使用したときに、排水ホースから水が出た

→出荷時の性能テストの水が残っています

異常ではありません。安心してご使用ください。

— 排水中にゴボゴボという音がする

→排水が空気と混ざる音がします

異常ではありません。

—給水されない

→すすぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水します

最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。(→[洗い時間を変更する P70](#))

→水栓が開いていますか？

水栓を開けてください。

—洗濯の途中で給水される

→洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水します

故障ではありません。

—脱水の途中で給水される

→洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正します

異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。

—ブザーが鳴って、脱水が途中で停止する

→洗濯物が片寄っていませんか？

洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。)

—洗濯物の量に水量が合っていない

→軽い衣類、水にぬれて重くなった衣類などを洗濯していませんか？

洗濯の水量は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣類や水にぬれて重くなった衣類などを洗濯するときは、水量ボタンで水量を変更してください。(→[水量を変更する P69](#))

汚れが落ちにくい

→洗濯物を入れすぎていませんか？

洗濯物の量を適正に減らしてください。(→[洗濯前の準備 P21](#))

→洗剤が少ない可能性があります

洗濯用洗剤は、洗剤量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。(→[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#))

→洗濯物の汚れが激しい

汚れの激しい洗濯物は、こだわり機能のつけおきを使用して洗ったり、洗いボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。(→[つけおき P72](#))

→泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください

音が大きい、振動する

→電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっていませんか？

電源コード・給水ホース・排水ホース、本体の位置を調整して当たらないようにしてください。

→金属の小物などと一緒に洗濯していませんか？

金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。

→ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている可能性があります

ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。

→設置が悪く、がたついていませんか？

水平で安定した場所に据え付けし直してください。

→洗濯物が片寄っている可能性があります

洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。を押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄

りを直してください。

単独の洗濯物を脱水すると、片寄って脱水できず停止します。

バランスを取るために、バスタオルなど別のものと一緒に洗濯してください。

→保護カバーを正しく取り付けられていますか？

保護カバーが外れていると異音の原因になります。(→[据付説明書](#)、[洗濯前の準備 本体 P22](#))

→洗濯物を入れすぎていませんか？

洗濯物の量を適正に減らしてください。(→[コース一覧 P65](#))

—洗濯物にごみがつく

→洗濯・脱水槽が汚れていませんか？(洗剤かす・かびなど)

槽洗浄を行ってください。槽洗浄した後は、糸くずフィルターをお手入れしてください。(→[お手入れ 糸くずフィルター P77](#)、[槽クリーン\(槽洗浄\) P80](#))

—洗濯物にしみがつく

→液体洗剤が部分的について、しみになることがあります

手動投入をするときは液体洗剤・液体漂白剤は洗剤投入ケースに投入してください。(→[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#))

—洗濯物に糸くずが付く

→前回の洗濯物の糸くずがたまっている可能性があります

洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。(→[お手入れ 糸くずフィルター P77](#))

→色の濃い衣料などは糸くずが目立ちます

市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用してください。

—洗濯物に洗剤が付く

→水温が低いと洗剤が溶けにくくなります

水温が低いときは、ふろの残り湯を使用するなどしてください。

→洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなります

軽いものや分厚いものは、下の方に沈めて洗濯してください。

→粉石けんを使用していませんか？

粉石けんは溶けにくいことがあります。別の容器に 30℃くらいのぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→[洗剤・柔軟剤を手動投入する P34](#))

—洗濯物が黄ばむ

→断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用していませんか？

- ・断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。
- ・白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)

—洗濯物が傷む・毛羽立つ

→デリケートな洗濯物を「標準」コースで洗っていませんか？

- ・デリケートな洗濯物は、洗濯ネットに入れる、「デリケート」コースで洗濯するなどしてください。
- ・毛羽立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。

—色移りする

→色落ちしやすいものを一緒に洗濯していませんか？

色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。

—洗濯物がごわごわする

→パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつきます

柔軟剤を使用してください。

— 風乾燥を使用して運転したのに乾きが悪い

→ 風乾燥は温風を使用しないため、室温や湿度によって乾きに差が出ます

乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水や風乾燥だけの追加運転をしてください。(→ [風乾燥 P73](#))

— 洗濯物がにおう

→ 洗濯・脱水槽が汚れていませんか？(かびなど)

槽洗浄を行ってください。(→ [お手入れ 槽洗浄 P80](#))

→ 洗濯物を生乾きのまま放置しませんでしたか？

洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。

— 液体洗剤・柔軟剤が自動投入されない

→ 自動投入設定が解除されていませんか？

洗 剤・柔軟剤 の上のランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は自動投入設定が解除になっています。洗 剤・柔軟剤 ボタンを押してランプを点灯させてください。(→ [液体洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき P31](#))

→ タンク内の液体洗剤・柔軟剤が空になっていませんか？

液体洗剤・柔軟剤を充填してください。(→ [液体洗剤・柔軟剤の入れ方 P27](#))

→ タンク内で液体洗剤・柔軟剤が変質していませんか？

自動投入タンクのふたを開けたままにしたり、粘性の高いもの、固まったものや分離したものを使用した場合、タンク内に変質したものが残っている場合があります。お手入れをしてください。(→ [お手入れ 自動洗剤投入タンク・経路 P82](#))

→ 自動投入経路がつまっている

自動投入タンク・経路のお手入れをしてください。(→ [お手入れ 自動洗剤投入タンク・経路 P82](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P98](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P98](#)

こんな表示が出たときは

エラーコード	状態	原因と対処
[1	洗濯が止まる	排水ホースが正しく取り付けられていません 排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉することで運転を再開します。
		排水ホースがつまっています 排水ホースを点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、 アイリスコール P98 (☎ 電話をかける) へご相談ください。
		住宅の排水経路がつまっています 洗濯機をどけ、排水ホースを外して、排水口を掃除してください。 排水口の掃除だけでなおらない場合は、水道業者に排水経路の修理を依頼してください。
[2-1		ふたが閉まっていません ふたをきちんと閉めてください。ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。
[2-3		ふたロックがかかりません ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。ふたがきちんと閉まってない場合は、ふたが閉まることを確認し電源を入れ直してください。
[3		洗濯物が片寄っていて脱水ができません - ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。 - 単独の洗濯物を脱水すると、片寄って脱水できず停止します。バランスを取るために、バスタオルなど別のものと一緒に洗濯してください。
		洗濯物の量が多いです 洗濯物の量を減らしてください。
		洗濯ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯しています 洗濯ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。
		大きな洗濯物を洗濯しています

		大きな洗濯物は「毛布」コースで、記載を守って洗ってください。(→ 「毛布」コース P51)
		洗濯ネットに入れた洗濯物が洗濯物の上の方にあるので、動作が不安定になります 洗濯ネットに入れた洗濯物は洗濯物の下の方に入れ直してください。
		設置が悪くがたついています 水平で安定した場所に据え付けし直してください。
		水栓が開けられていません 水栓を開いてください。
E5		水道が凍結したり断水したりしています 水道が復旧するまで使用を停止してください。
		給水口にごみがつまっています 据付専門業者または アイリスコール P98 (☎ 電話をかける)へご連絡ください。
E0	電源が入らない	故障の可能性があります お買い上げの販売店、または アイリスコール P98 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P98](#) (☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P98](#)

その他の情報

仕様

洗濯容量		10.5kg
製品寸法	ホース含まず	幅 553×奥行 637×高さ 1042mm
	ホース含む	幅 593×奥行 637×高さ 1071mm
製品質量		39kg
定格電圧		AC100V
定格消費電力		460W
定格周波数		50／60Hz
運転時間		39 分(「標準」コース)

※製品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は別途添付しています。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

ただし、一般家庭以外での使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。

詳しくは[保証規定 P96](#) を参照してください。

—一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

理容院、美容院、病院や寮など、1 日の使用時間が一般家庭と比べて長い場合は、保証期間の対象外となります。

また、短時間で部品交換が必要になることがあります。

お買い上げの販売店または[アイリスコール P98](#) ( [電話をかける](#))にご相談のうえ、ご使用ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P98](#) ( [電話をかける](#))にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P98](#) ( [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理の際に保証書を提示してください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P98](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

— 設計上の標準使用期間

JIS 基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件(JIS 基準に基づく)

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03~0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回×365 日 = 547.5 回/年



製品の劣化や故障はさまざまな要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P98](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。

※標準的な使用条件を超えて使用した場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

廃棄するときは

●家電リサイクル法では、お客様が使用済みの洗濯機を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市区町村に適正に引き渡すことが求められています。
梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール：[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

お客様サポート：<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>



全自動電気洗濯機

OSHシリーズ

洗濯・脱水容量

8～10.5kgモデル

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよくお読みになり、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。
- 本書に使用している写真・イラストは説明のためのイメージであり、実物とは多少異なる場合があります。

もくじ

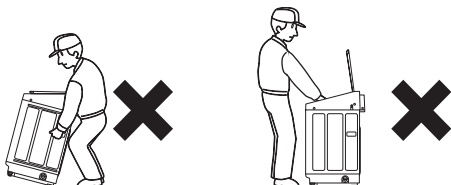
本体運搬時の注意.....	表紙
安全上の注意.....	2
付属品の確認.....	3
製品寸法図.....	4
据え付け関連部品.....	4
据え付け.....	5
チェックシート.....	裏表紙

お客様へ

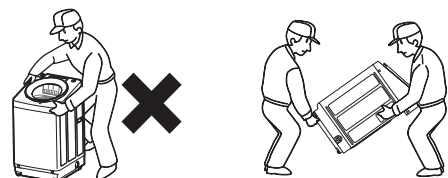
この据付説明書は、かんたん操作ガイドとともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。



- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷付けたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
- 必ず、2人以上で作業してください。
- 必ず、左右側面の手掛け部を持ってください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく据え付けてください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機を電源プラグに押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない

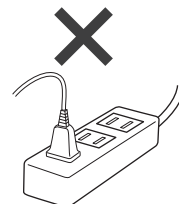
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷付けない
- 電源コードを引っ張らない

傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない

過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

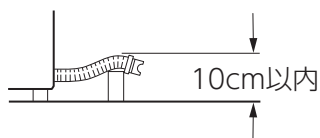


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースをねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、排水ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水口は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水ナットなどがゆるんでいないか確認してください。給水ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

据え付けについて



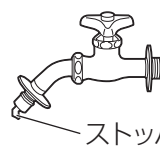
- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続する
接続するときは錆や汚れ、傷がないことを確認してください。
- 洗濯機用ストッパー付きニップルの付いた水栓でない場合は、必ず付属のホース継手を取り付けて接続する
水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けしないでください。



- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認してください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。

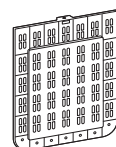
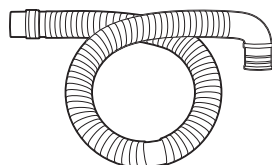
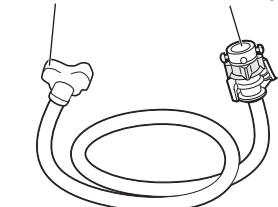
給水ホース
(約0.8m)

排水ホース
(約0.8m)

保護カバー

M4ねじ

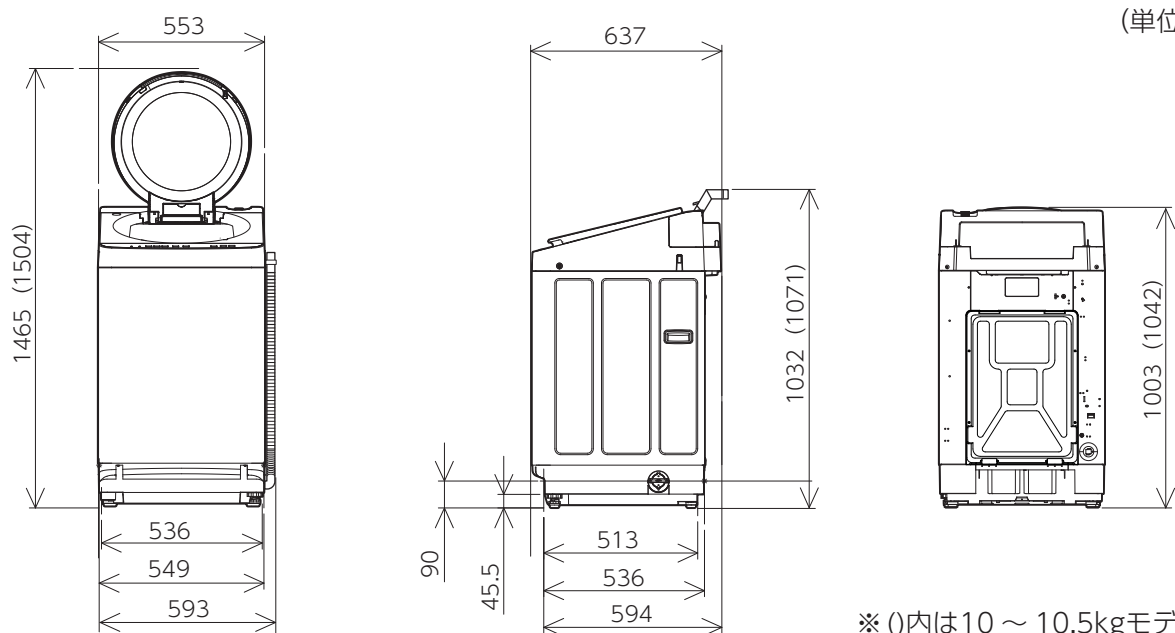
給水ナット ホース継手



排水ホース
クリップ



製品寸法図



※ ()内は10～10.5kgモデルの寸法

据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、下記のSANEI 株式会社のものを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		- 万一給水ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 - 曲げ角度90° - 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		- 万一給水ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 - カップリング水栓用 - 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		- 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 - オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		- 全自動洗濯機用給水ホースの延長用 - 長さ：1m - 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		- 洗濯機排水ホースの延長用 - 長さ：1.5m - ホース内径：30mm
洗濯機用トレイ (全自動用)	PH545-570		材質：ポリスチレン
洗濯機用 防振かさ上げ台	PH54130S		- 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 - 洗濯機の振動を抑えます。 - 耐荷重：150kg（4個使用時） - 材質：ポリプロピレン

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け

1 据え付け場所を確認する



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けしないでください。



- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。
- 高いところに据え付けしないでください。
- 確実に排水できる場所に据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けしないでください。
 - ・ 冬季に凍結するおそれのある場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房など発熱器具の近く
 - ・ 有機溶剤を扱う場所
 - ・ 強度のない床
 - ・ タイルなど滑りやすい床
 - ・ ブロック・角材・レンガの上など、不安定な場所

給水圧の確認

- ・ 接続する水栓の水圧が、以下の範囲になっているか確認してください。

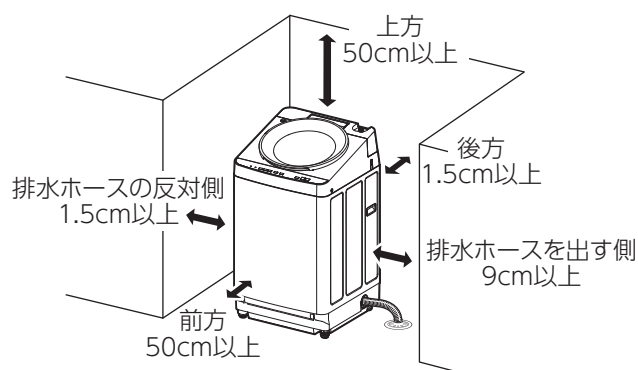
最大許容水圧：0.8MPa

最小許容水圧：0.1MPa

据え付けに必要な寸法の確認

壁から図に示す距離を空ける

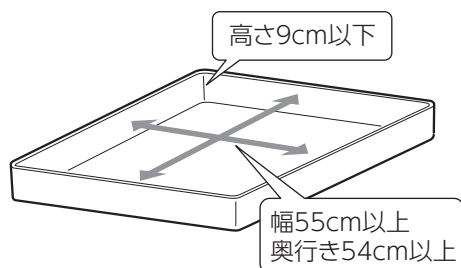
- ※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



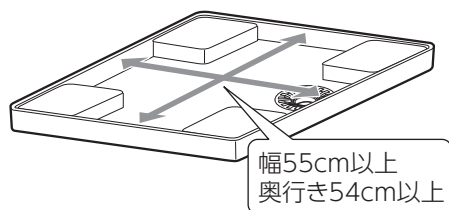
防水パンに設置する場合は

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

- ・ 台なし防水パン



- ・ 台付き防水パン



※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。
室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

排水口の清掃

排水ホースを取り付ける前に排水口を掃除する

※ 排水口にごみがたまっていると、エラー表示や水もれ、排水不良、においの原因になります。

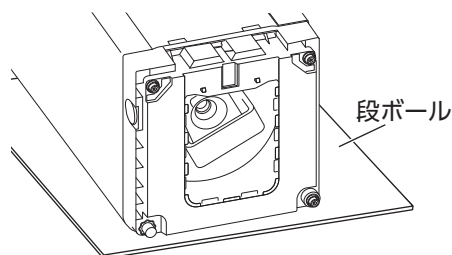
2 保護カバーを取り付ける



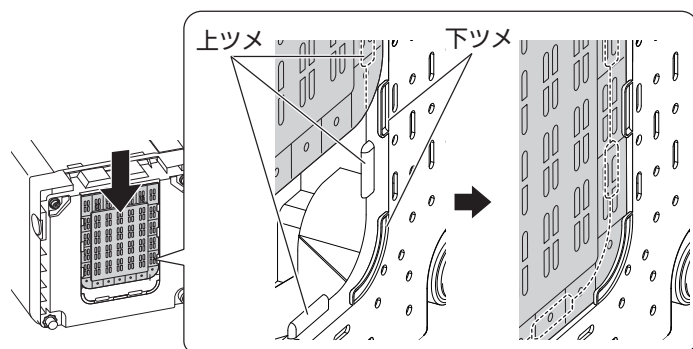
- 保護カバーを必ず取り付けてください。

本体と床面のすき間に手や足が入りけがの原因になります。

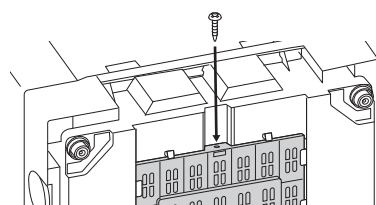
- ① 段ボールなどを敷き、本体を静かに前側へ倒す（ふたは開かないようにテープなどで固定する）



- ② 保護カバーを図のように本体底部の上ツメ(8か所)と下ツメ(9か所)の間を通して差し込む



- ③ 1か所を付属のM4ねじで固定する



つづく→

3 排水ホースを排水口に接続する

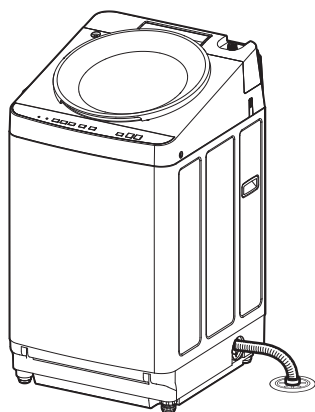


注意

- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

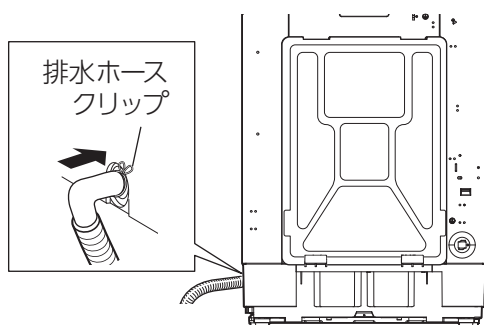
- 排水口が本体の右側・左側にあるときは、そのまま排水ホースを排水口に接続します。
- 排水口が本体の下にあるときは、真下排水パイプと台付き防水パンや防振かさ上げ台などを使用して排水口に接続します。

排水口が右側にあるとき



排水ホースの出しかた

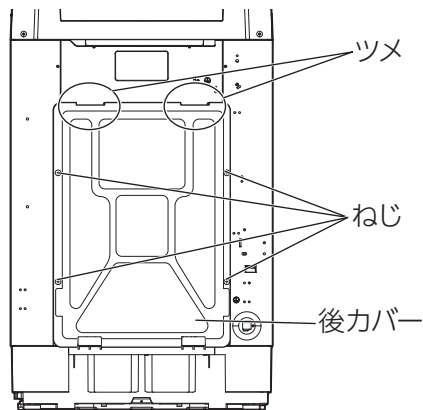
- ・排水ホースを本体右側の接続部に取り付け、排水ホースクリップで固定してください。



排水ホースを左側に付け替えるとき

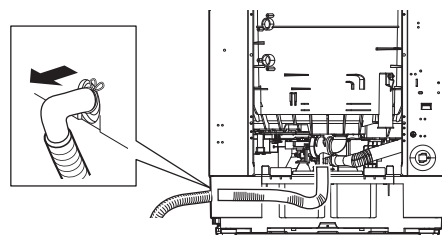
①後カバーを外す

- 1.ねじを外す (4本)
- 2.上部のツメ2か所を外して、後カバーを上を持ち上げて外す



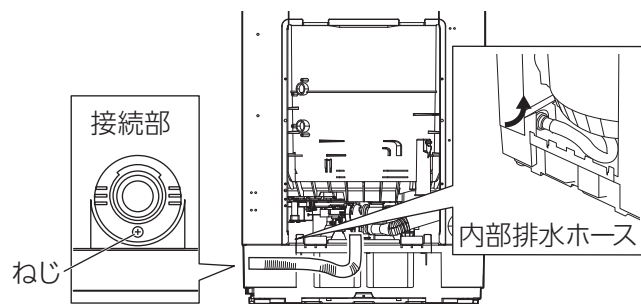
②排水ホースを外す

- 排水ホースが付いている場合は、排水ホースクリップをゆるめて、排水ホースを本体から外す

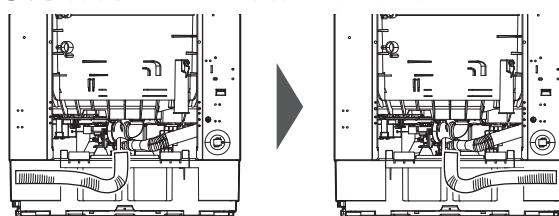


③接続部のねじ1か所を外す

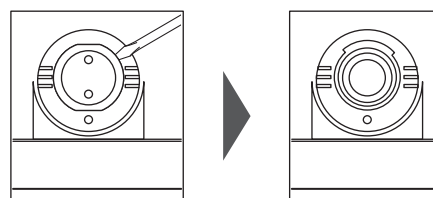
- 内部ホースを製品上側に動かし、本体から外す



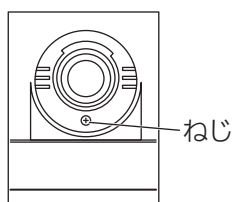
④内部排水ホースを本体左側に移動する



⑤排水ホース引出口カバーを外し、内部排水ホースをはめ込む

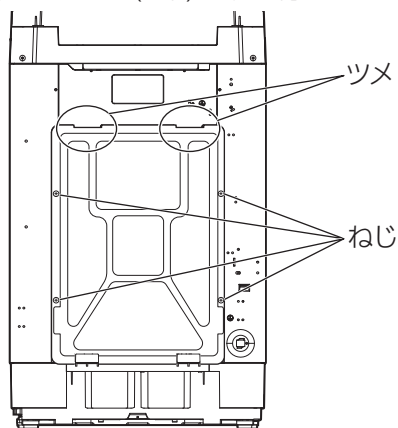


⑥ ねじ1か所を取り付ける



⑦ 後カバーをはめ、ねじを取り付ける

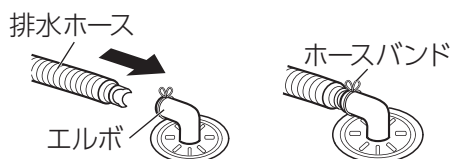
- 下側を本体の溝にはめてから、上側のツメ2か所をはめ込み、ねじ(4本)を取り付ける。



⑧ 排水ホースを取り付ける (→P6)

排水口への接続

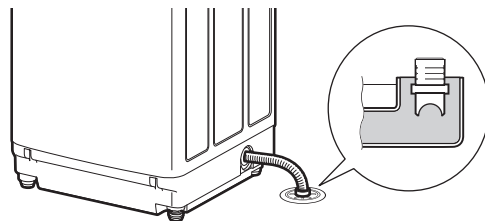
- 排水口にエルボがある場合は、エルボに排水ホースを差し込みます。
- ※ ホースが本体底面などこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- ※ 排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかりと固定してください。
- ※ 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



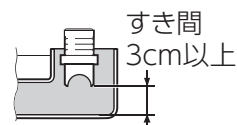
- ※ 排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。



- 排水口にエルボがない場合は、排水ホースの先端を排水口に差し込みます。



- ※ 排水ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。

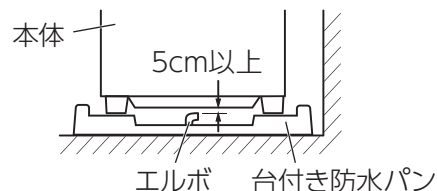


排水口が本体の下にあるとき

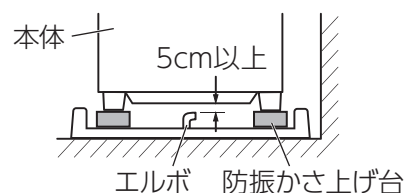
排水口への接続

- 排水口にエルボがある場合は、エルボ上端と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げ台を使用して高さを調節してください。

台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



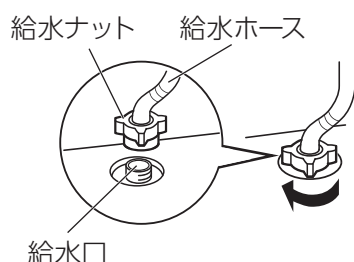
- 排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

4 給水ホースを本体へ接続する



- 給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。
- 床近傍の給水栓に接続しないでください。給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

- ・ 給水ホースの先に付いている給水ナットを、傾けないように本体の給水口に合わせて、給水ナットを締めこんでください。
- ※ 給水ナットは最後まで確実に締めてください。
- ※ 給水口の中にあるフィルター部品は外さないでください。



5 給水ホースを水栓に接続する

水栓を確認する

付属のホース継手を使用せずに接続できる給水栓



ニップル付き水栓

ホース継手を外して、給水ホースを給水栓に直接接続する (→P9)

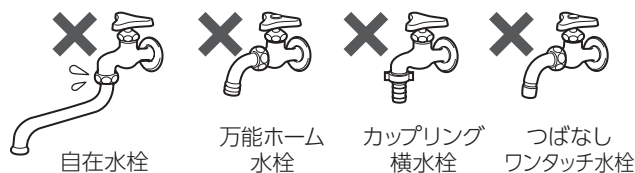
付属のホース継手を使用して接続できる給水栓



横水栓

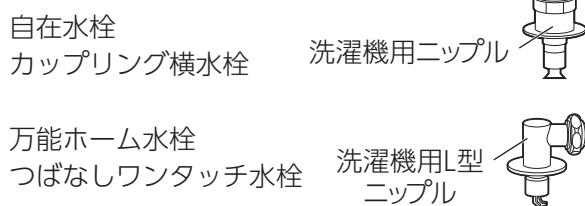
右の「付属のホース継手の取り付けかた」にしたがって、給水栓にホース継手を取り付けてから給水ホースを接続する。(→P9)

接続できない給水栓



① お願い

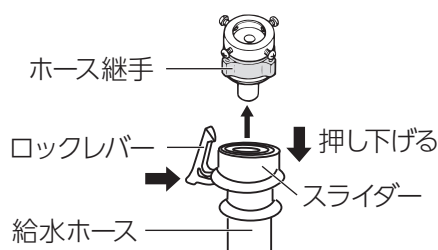
- 上記の水栓には、付属のホース継手は取り付けできません。水栓の種類に応じて、市販の洗濯機用ニップルを取り付けて使用してください。



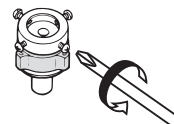
付属のホース継手の取り付けかた

- ・ 給水ホースからホース継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

- ① 給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを下げきって、引っ張って外す

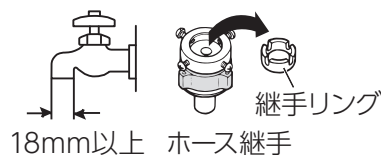


- ② ホース継手の4本のねじをゆるめる

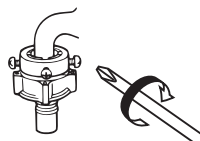


ポイント

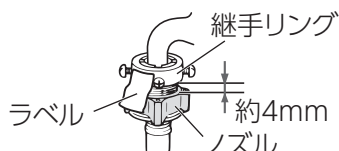
- 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。



- ③給水栓の口の中心とホース継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかりと締める



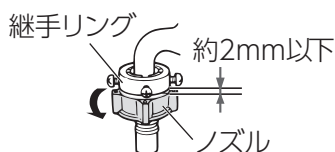
- ④ホース継手の継手リングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



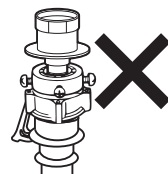
※ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させて継手リングとノズルの間を調節してください。

- ⑤ノズルを右に回して締める

- ・ノズルと継手リングの間が2mm以下になるように締めてください。



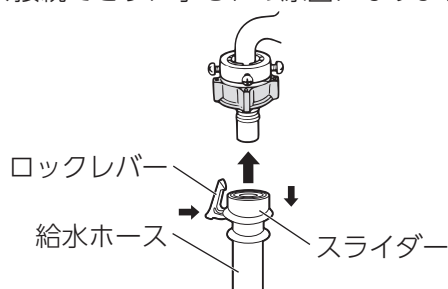
※ニップル付き給水栓に接続する場合は、必ず付属のホース継手を取り外してください。水もれの原因になります。



付属のホース継手を使用する場合

- ・スライダを下げきって、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。

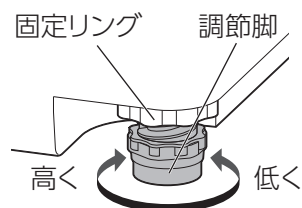
※スライダを下げきってから押し込まないと、正しく接続できずに水もれの原因になります。



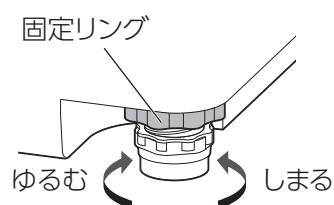
- ・給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ・本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

6 水平・がたつきの確認をする

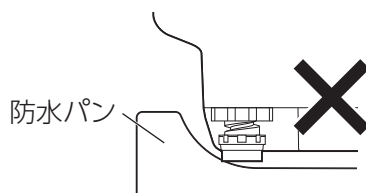
右前の調節脚を回して、がたつきがないように調節する



- ・固定リングをゆるめ、調節脚を回して高さを調節したら、固定リングを締めて固定してください。



※本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



つづく→

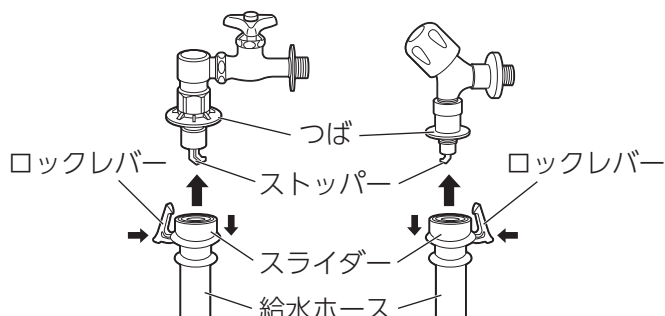
i お願い

- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
- 付属のホース継手は、時間がたつとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、締め直してください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

■接続のしかた

ニップル付き給水栓に接続する場合

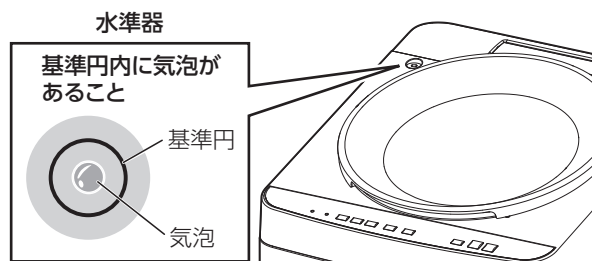
- ・付属のホース継手を取り外し、スライダを下げきり、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



据え付け つづき

本体が水平になっているか確認する

- 本体の水準器で確認してください。
 - 本体上部の水準器で気泡が基準円内に入っていれば水平です。
- ※ 気泡が基準円内に入っていない場合は、右前の調節脚で調節してください。



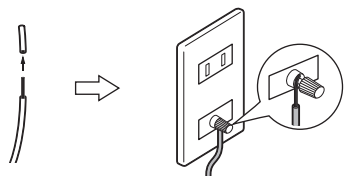
本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

※ がたつきのあるときは、再度調整してください。

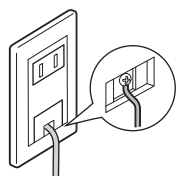
7 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

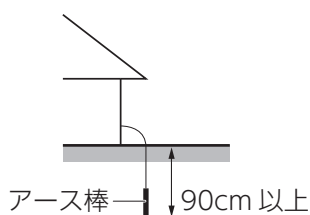


- ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



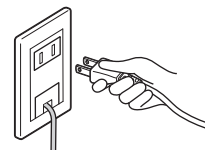
アース端子付きコンセントがない場合

- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

8 電源プラグをコンセントに差し込む

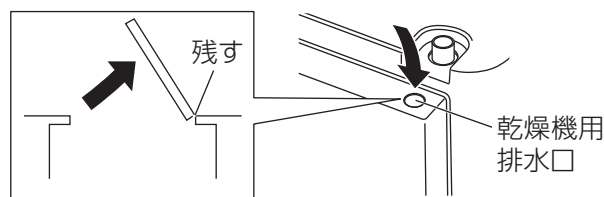


警告

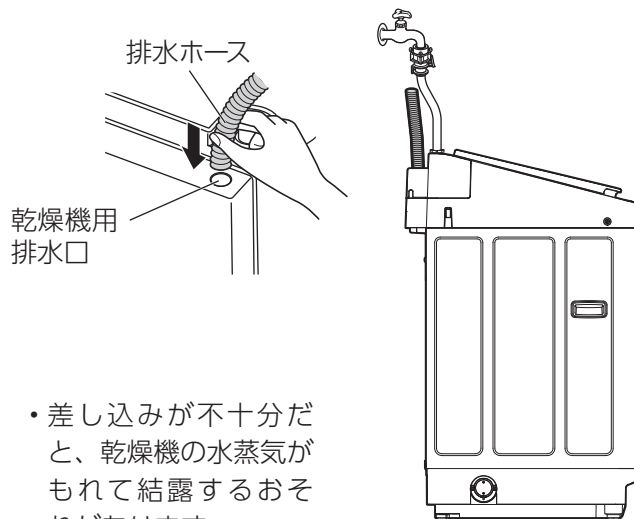
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードはたばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけないようにしてください。
- 電源コードが洗濯機や他の物の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを引っ張るなどして傷付けないでください。
- 延長コードは使用しないでください。

9 衣類乾燥機とセットで使うとき

- ① 洗濯機の乾燥機用排水口を押して製品奥側を切り離し、外側へ引き出す



- ② 衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、乾燥機用排水口へ3山以上押し込む



- 差し込みが不十分だと、乾燥機の水蒸気がもれて結露するおそれがあります。

10 試運転する

- ・次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

- ・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、[]ボタンを押して電源を入れ、[スタート／一時停止]ボタンを押してスタートする

- ・パルセーターが左右に回転して、水位が表示され、約1分後に給水が始まります。
- ・ふたロック[]が点灯して、ふたがロックされることを確認してください。

3 [水量]ボタンを押し、一番上の水量を選ぶ

- ・約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

4 [スタート／一時停止]ボタンを押して、一時停止する

- ・ふたロック[]が消灯して、ふたが開くことを確認してください。

5 []ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

6 ふたを閉めて脱水行程だけを設定し、[スタート／一時停止]ボタンを押してスタートする

- ・ふたがロックされます。
- ・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないことを確認してください。
- ・約3分間脱水し、異常音・異常振動がないことを確認してください。
- ・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

7 [スタート／一時停止]ボタンを押して一時停止する

- ・ふたロック[]が消灯していることを確認してください。

8 []ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- ☐ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- ☐ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みがないことを確認しました。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。(感電防止のため、アースは必ず接続してください。)
- ☐ 洗濯機の底部に保護カバーを取り付け、手や足が入るすき間がないことを確認しました。
- ☐ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ☐ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、ねじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが10cm以上持ち上がっていないことを確認しました。
- ☐ 本体が水平になっていることを確認しました。
- ☐ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- ☐ 調節脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。(本体底面と固定リングの間にすき間がないこと)
- ☐ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に給水・排水されることを確認しました。

確認日: 年 月 日

確認者:

工事(施工)会社名:

問い合わせ先 電話番号:

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

